

2010.2版

JRCA

Japanese Rally Championship Association **JRCA**

ご質問、お問い合わせは下記JRCA事務局へ
JRCA事務局

〒240-0112 神奈川県三浦郡葉山町堀内1445-1

TEL.& FAX. : 046-877-0455

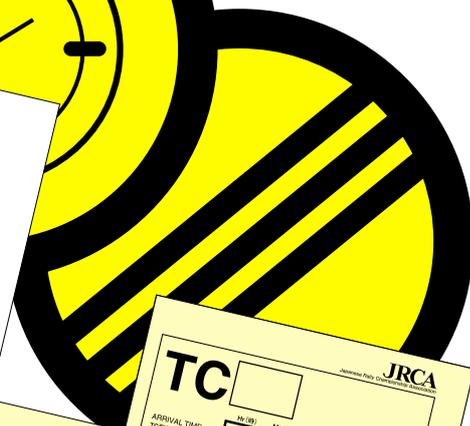
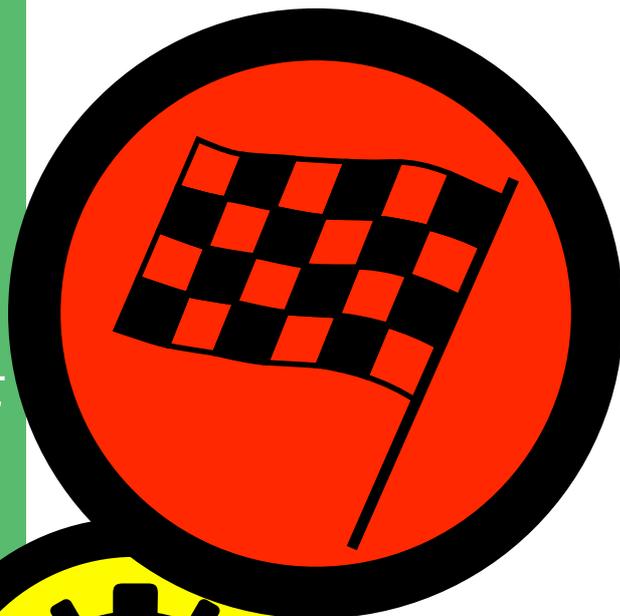
e-mail : info@jrca.or.jp

<http://www.jrca.gr.jp/>

指示ツール・タイムカード・標識類 統一フォーム、運用の手引き

本書の内容は、全て上記アドレスのホームページに掲載されていますので、ご自由に閲覧及びダウンロードが可能です。

- 1 標識類の運用について
- 2 推奨オフィシャル(マーシャル)手順について
- 3 推奨TC配置例について
- 4 ロードブックの推奨フォームについて
- 5 サービスブックの推奨フォームについて
- 6 タイムカードの運用について
- 7 その他
- 8 JRCAイベント用資材



TC 14 - Mitsuhashi(三ツ橋)		距離	31.92km	Day	2	Page	
TC 15 - Kitayama(北山)		SS Average / SS平均速度	47.40km/h	Section	3		13
SS 14 Mitsuhashi		12.64km		SS Time Allowed	SS基準所要時間 16min		

0.05					
0.00	0.00	↑			
	1		12.64	SS 14	31.92
0.93	0.93	↘			
	2		11.71		30.9
1.74	0.81	↑			
	3		10.90		30.1
5.15	3.41	↙			
	4				26.7

TC

ARRIVAL TIME at TC
TC到着時刻

DUE TIME (Competitor Use)
競争手定時刻(選手使用)

TARGET TIME
目標時間

ACTUAL START
スタート時刻(実測)

TIME TAKEN
所要時間

CAR NO.

TC

ARRIVAL TIME at TC
TC到着時刻

DUE TIME (Competitor Use)
競争手定時刻(選手使用)

TARGET TIME
目標時間

ACTUAL START
スタート時刻(実測)

TIME TAKEN
所要時間

CAR NUMBER

FINISH TIME
フィニッシュ時刻(実測)

ACTUAL START
スタート時刻(実測)

TIME TAKEN
所要時間

Provisional Start Time
スタート予定時刻

Arrival Time at TC
TC到着時刻

STAMP SIGN
署名

はじめに

2003年からJAFモータースポーツイヤーブック「ラリー競技会組織に関する規定」に、第6条スペシャルステージラリーの条項が追加され、運営の付則の中に標識類の標準規格、標識類設置の標準規格、ロードブック推奨様式、サービスブック推奨様式、タイムカード推奨様式が同時に制定されました(現「ラリー競技開催規定」)。JRCAが支給している指示ツール、タイムカード、標識類はこれに準じています。本「運用の手引き」では、その具体的運用についてJRCAとしての補足説明等を加筆した内容になっていますので、ラリー開催またはラリー参加に当たっての参考にしてください。なお実際の運用に当たっては最新のJAFモータースポーツイヤーブック「ラリー競技開催規定」を良くご確認ください。

CONTENTS

- 1 01～05 標識類の運用について**
 - 01・標識類の標準規格[タイムコントロールの標識類]
 - 02・標識類の標準規格[その他の標識類(設置する場合)]
 - 03・JRCA支給標識
 - 04・標識類設置の標準規格
 - 05・TC(タイムコントロール)で設置・使用される主な標識と説明
- 2 06～11 推奨オフィシャル(マーシャル)手順について**
 - 06・一般TC用
 - 07・SS前TC用
 - 08・SS START
 - 09・SS FINISH
 - 10・リググループIN用
 - 11・リググループOUT用
- 3 12～16 推奨TC配置例について**
 - 12・TC配置(車検後・ラリースタート前車両保管例)
 - 13・TC配置(リググループ&サービス配置例)
 - 14・TC配置(サービス単独設定の場合の配置例)
 - 15・TC配置(リググループ単独設定の場合の配置例)
 - 16・TC配置(二日目スタート前のパルクフェルメ例)
- 4 17～23 ロードブックの推奨フォームについて**
 - 17・ロードブック推奨様式
 - 18・ロードブック中の記号類について、ロードブックのページ順例
 - 19・ラリー行程表
 - 20・ロードセクションコマ図
 - 21・スペシャルステージコマ図
 - 22・リググループ&サービス地点略図
 - 23・ルート全体図
- 5 24～29 サービスブックの推奨フォームについて**
 - 24・サービスブック推奨様式
 - 25・サービスパーク地図
 - 26・サービスパーク見取り図
 - 27・サービス移動コマ図
 - 28・サービスパーク地図(同じ場所で2度以上サービスを実施するケースの例)
 - 29・サービスパーク見取り図(リググループがないサービスパークの例)
- 6 30～34 タイムカードの運用について**
 - 30・タイムカード推奨様式
 - 31・タイムカード推奨様式[タイムカード見本1、見本2、見本3]
 - 32・JRCA支給タイムカードの運用について
 - 33・ラリースタートTC0の場合
 - 34・リググループカードの運用について
- 7 35～44 その他**
 - 35・ロードブックの製本
 - 36・タイムカードの製本
 - 37・製本機用リング金具について、リング金具用製本機について
 - 38・クレデンシャルについて
 - 39・参加申込書/車両申告書[40・参加申込書、41・サービス申込書、42・車両申告書]
 - 43・取材申込書
 - 44・SS中の後続車への合図
- 8 45～48 JRCAイベント用資材案内、資材申込書**

標識類の運用について

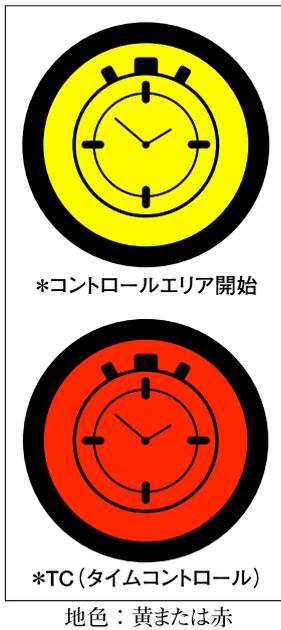
2003年よりJAFモータースポーツイヤーブック「ラリー競技会組織に関する規定」(現:「ラリー競技開催規定」)に標識に関する推奨様式が以下のとおり制定されました。なお、最新のJAFモータースポーツイヤーブックの内容をご確認ください

別添1：標識類の標準規格

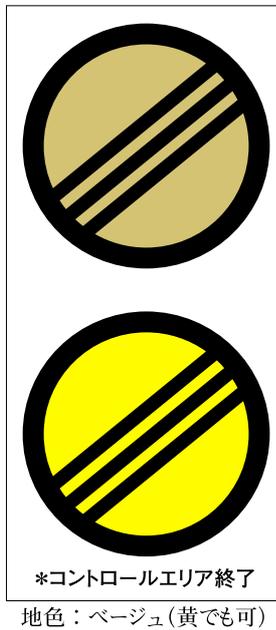
- 1.各標識の図柄は特に指示されたものを除き黒色で表示され、指定された地色とすること。各標識図形の最外側の円直径が70cmであることが望ましい。
- 2.No.2は黄色地でもよいが、ベージュ色地であることが望ましい。
- 3.図形の外側に余白がある場合、余白部分は白地であることが望ましい。
- 4.視認性の良い位置にしっかりと設置、固定されていること。

タイムコントロールの標識類 *JRCA注釈

No.1



No.2



No.3



No.4



No.5

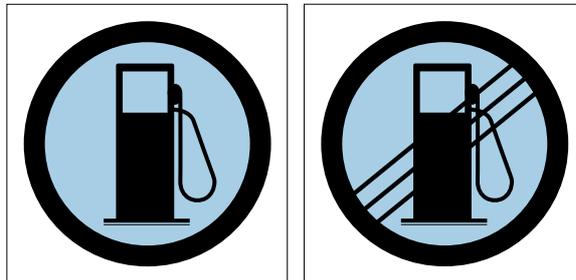


STOP



その他の標識類(設置する場合) *JRCA注釈

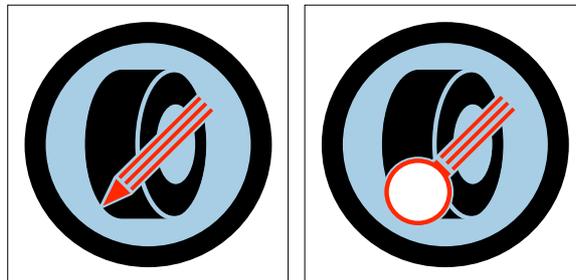
給油エリア



開始
地色：青

終了
地色：青

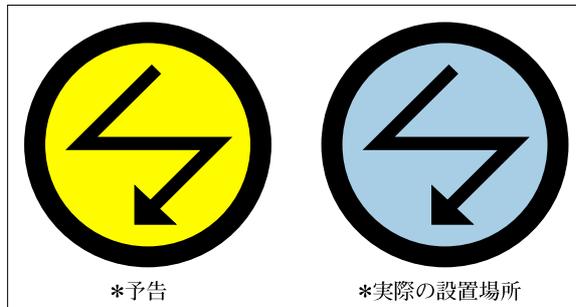
タイヤチェックエリア



マーキング場所
地色：青、マーカー部：赤

チェック場所
地色：青、ルーペ部：赤
レンズ部：白

ラジオ(無線)ポイント

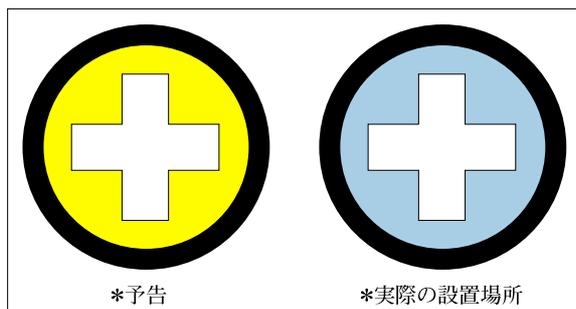


*予告

*実際の設置場所

地色：黄または青

救急ポイント



*予告

*実際の設置場所

地色：黄または青
十字内：白

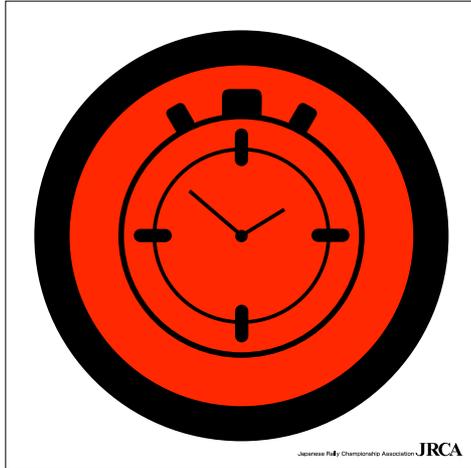
JRCA支給標識

各標識は雨に濡れても破れない合成紙でできています。
また、裏面がノリ付になっているので板などにも直接貼ることができます。

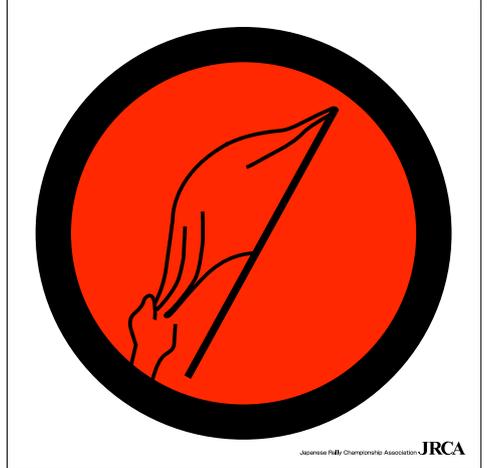
■大型:赤色

正方形(80×80cm)
円の直径(70cm)
耐水合成紙(裏のリシール)

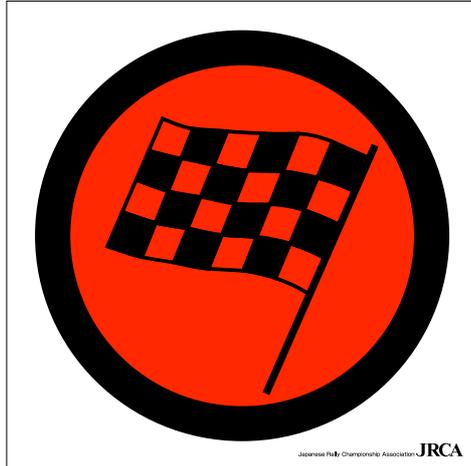
赤色時計マーク



赤色スタートマーク



赤色フィニッシュマーク



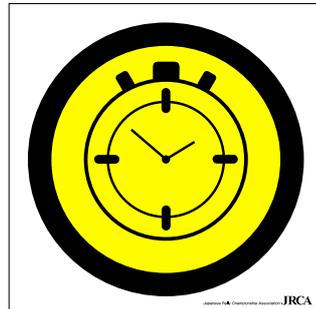
赤色ストップマーク



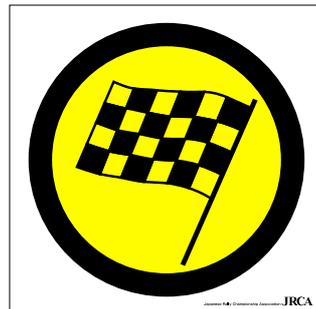
■小型:黄色

正方形(51×51cm)
円の直径(45cm)
耐水合成紙(裏のリシール)
※本黄色標識はFIA規定では赤色標識と同じ大きさですが、実際の現場での運用を考慮して小型化しました。
また、エリア終了マークは視認性向上のため黄色にしました。(FIA規定ではベージュです)

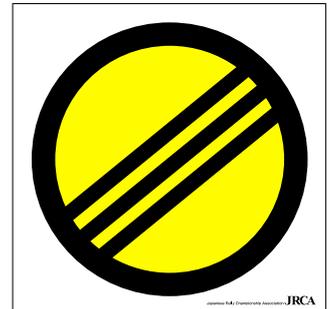
コントロールエリア開始マーク
(TC手前)



コントロールエリア開始マーク
(SSフィニッシュ手前)



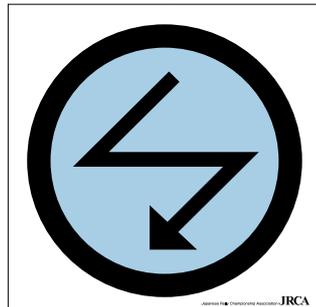
コントロールエリア終了マーク



■小型:青色

正方形(51×51cm)
円の直径(45cm)
耐水合成紙(裏のリシール)
※本黄色標識はFIA規定では赤色標識と同じ大きさですが、実際の現場での運用を考慮して小型化しました。

ラジオ(無線)ポイントマーク
(実際の設置場所)



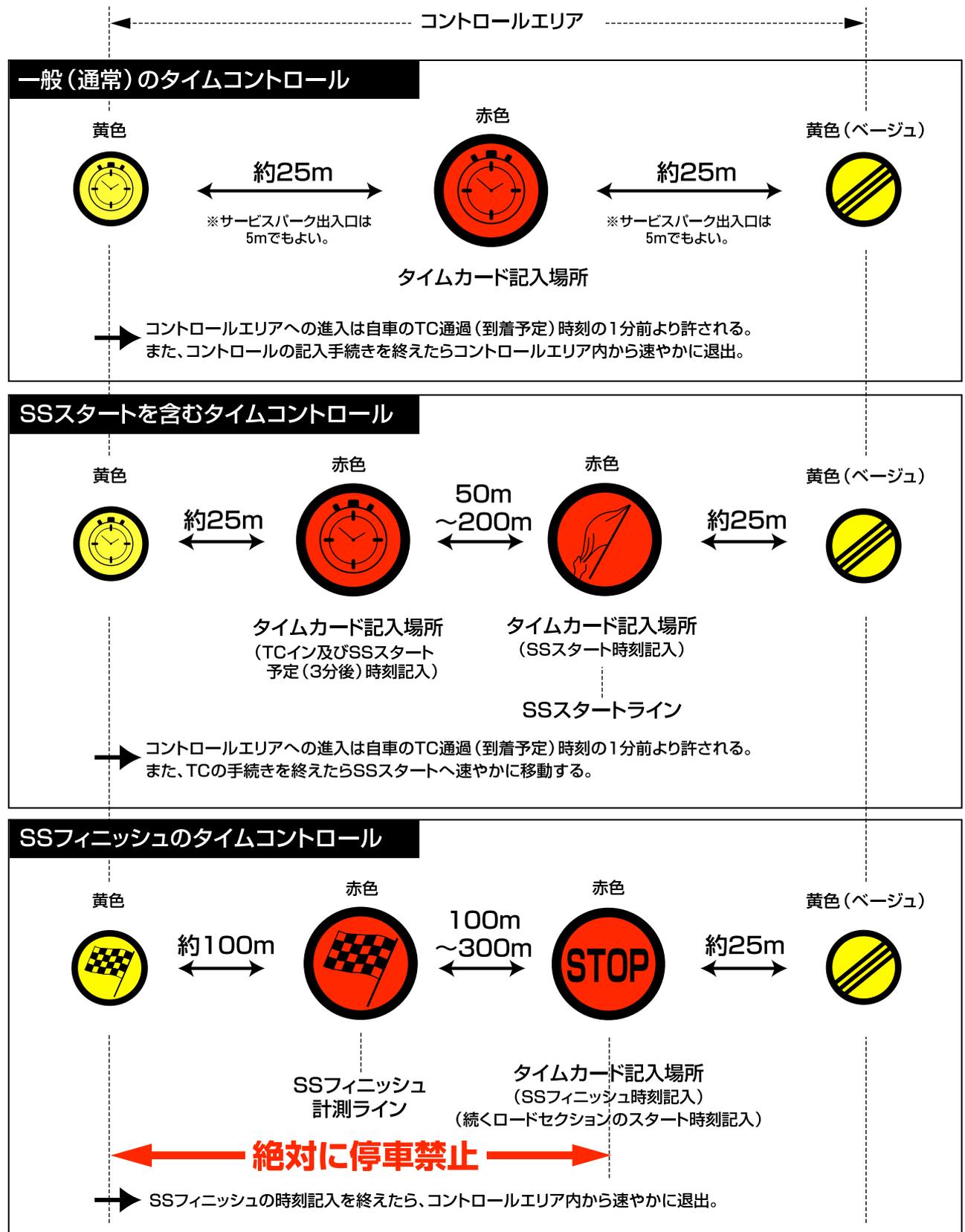
**注：これらの標識の支給は在庫限りで終了予定です。
追加等はお早めにご注文ください。**

別添2：標識類設置の標準規格

進行方向	コントロールの種類	コントロールエリア
	タイムコントロール	<p style="text-align: center;"> 予告標識 (コントロールエリア開始) 本標識 (タイムカード記入または計時位置) 終了標識 (黄色でも可) (コントロールエリア終了) </p> <p style="text-align: center;"> 黄色 赤色 ベージュ色 (黄色でも可) </p> <p style="text-align: center;">  ← 約25m →  ← 約25m →  </p> <p style="text-align: center;"> <small>JRCA注</small> <small>サービスパーク出入口は5mでもよい。</small> </p> <p style="text-align: center;"> TC </p>
	タイムコントロールにSSスタートが続く場合	<p style="text-align: center;"> 黄色 赤色 赤色 ベージュ色 (黄色でも可) </p> <p style="text-align: center;">  ← 約25m →  ← 50~200m →  ← 約25m →  </p> <p style="text-align: center;"> TC SSスタート </p>
	SSフィニッシュ	<p style="text-align: center;"> 黄色 赤色 赤色 ベージュ色 (黄色でも可) </p> <p style="text-align: center;">  ← 約100m →  ← 100m~300m →  ← 約25m →  </p> <p style="text-align: center;"> フィニッシュライン (停車禁止) ストップポイント (時刻記入) </p>
	パッセージコントロール	<p style="text-align: center;"> 黄色 赤色 ベージュ色 (黄色でも可) </p> <p style="text-align: center;">  ← 約25m →  ← 約25m →  </p> <p style="text-align: center;"> TC </p>

TC (タイムコントロール) で設置・使用される主な標識と説明

JRCA補足説明

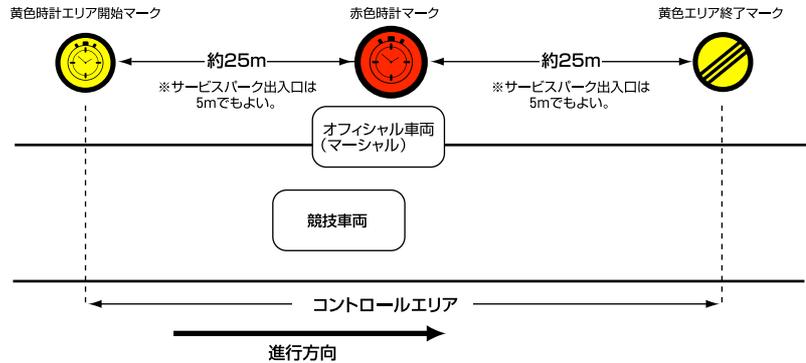


- コントロールエリア内はパルクフェルメとなるので、車両についてはオフィシャル (マーシャル) から指示のあった場合を除き一切の作業を行ってはならない。(SSスタート時の窓拭きなどのみ除く。水などの補給は禁止。)
- コントロールエリア内では一連の手続きに必要な時以外、停車したり異常に遅いスピードで走行してはならない。

JRCA推奨オフィシャル(マーシャル)手順について

タイムカードの処理については別添5:タイムカード推奨様式に記載されていますが、ここではより具体的に補足します。

TC (一般TC用)



TC (タイムコントロール) オープンの準備

1. TC用看板類を上図の要領に従って設置。無線のテスト等も行なっておく。
2. 競技車がオフィシャル(マーシャル)車両の横に止まった状態で公式時計が選手から見えるようにセットする。
公式時計：計時に使用する時刻を刻む時計で、選手からも見えやすい大型液晶時計などを推奨。

競技車に対するTC作業

1. 競技車がコントロールエリア開始看板(黄色の時計マーク)を通過し、コントロールエリア内に進入してきたら、進入時刻の確認と選手2名が揃っていることを確認する。
競技車のコントロールエリア内進入は、予定到着時刻の1分前から認められる。
2. 選手からタイムカードを手渡された時刻を確認し、その時刻(時分)を「TC到着時刻」欄に記入する(1)。
3. タイムカードの1枚目(黄色)と2枚目(赤色)を切り取り、黄色はTCで回収、赤色は選手に渡す(2)(3)。
4. 次のつづりページの「(TC)スタート時刻(実際)」欄に記入し(4)、その後選手にタイムカードを渡す。
計時車の横(車外)にタイムカードを手渡す係りがいればなお良い。
(競技車は速やかにコントロールエリアから退出する。)
5. 回収したカード(黄色)のTC到着時刻からスタート時刻を引き所要時間を算出する。本部へTC到着時刻と所要時間を連絡する。

注) コントロールエリア内での競技車同士の追い越しは禁止。

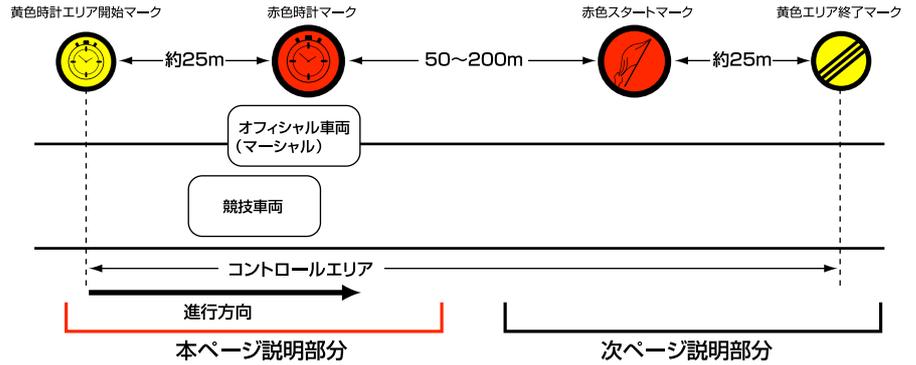
(1) TCイン時刻を記入する。

(2) TC分の控え(黄紙)をとる。

(3) 選手控え(赤紙)をとり、選手に渡す。

(4) TCイン時刻を次のページのカードの前TC欄に記入する。

TC (SS前TC用)



TC(タイムコントロール)オープンの準備

1. TC用看板類を右図の要領に従って設置。無線のテスト等も行なっておく。
2. 競技車がオフィシャル(マーシャル)車両の横に止まった状態で公式時計が選手から見えるようにセットする。

競技車に対するTC作業

1. 競技車がコントロールエリア開始看板(黄色の時計マーク)を通過し、コントロールエリア内に入ってきたら、進入時刻の確認と選手2名が揃っていることを確認する。
競技車のコントロールエリア内進入は、予定到着時刻の1分前から認められる。
2. 選手からタイムカードを手渡された時刻を確認し、その時刻(時分)を「TC到着時刻」欄に記入する(1)。
3. タイムカードの1枚目(黄色)と2枚目(赤色)を切り取り、黄色はTCで回収、赤色は選手に渡す(2)(3)。
4. SSのスタートに続くTCなので、次の綴りページの「TC到着時刻」欄に 2.と同じ時刻を記入する(4)。さらにその**3分後の時刻**を「(SS)スタート予定時刻」欄に記入する(5)。
※この「3分間」は、クルーがSSスタートの準備をするための時間として与えられるものなので、3分間が移動にのみ費やされるような遠距離にSSスタートを置くことは避けなければならない(50m~200m)。
※TCとSSが隣接する場合は、当然この移動区間はコントロールエリアでありパルクフェルメと同じ扱いとなる。それが適正に運用されるためにも、TCからSSスタートまでの距離を不用意に長く取ることは避けるべきである。
5. その後選手にタイムカードを渡す。
計時車の横(車外)にタイムカードを手渡す係りがいればなおよい。
(競技車は速やかにSSスタートへ移動する。)
6. 回収したカード(黄色)のTC到着時刻からスタート時刻を引き所要時間を算出する。本部へTC到着時刻と所要時間を連絡する。
7. SSスタートが止まってしまい、コントロールエリアが競技車両で混雑し、TCに入りたい競技車両がエリア内に入れない場合、コ・ドライバーが歩いてコントロールにタイムカードを提出に来るので、この場合は車両とドライバーがコントロールエリア外であってもチェックインを認め、タイムカードの記入をおこなう。
この場合は車両がコントロールエリア外にあってもパルクフェルメ規定が適用される。

★ タイヤチェックを行う場合は、このTCにINするために待機している間に行うか、このTC処理を行っている間、または直後に実施するのがよいでしょう。

(1) TCインを記入する。

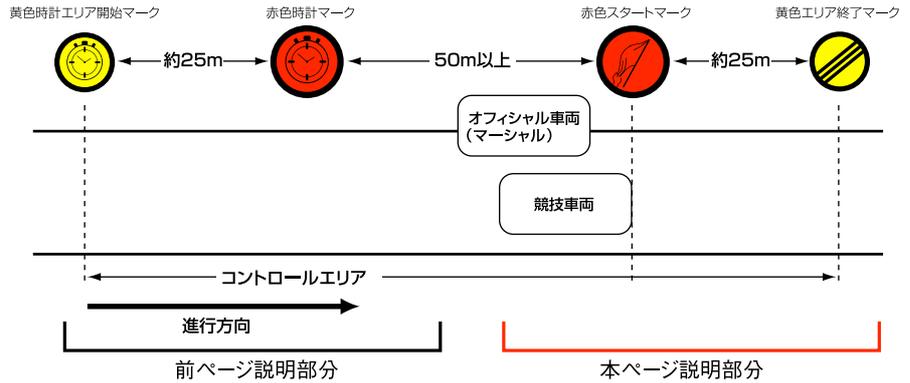
(2) TC分の控え(黄紙)をとる。

(3) 選手控え(赤紙)をとり、選手に渡す。

(4) TCイン時刻を次のページのカードの前TC欄に記入する

(5) その3分後の時刻をSSスタート予定時刻欄に記入する。

SS START



SS START (SSスタート) オープンの準備

1. SSスタート用看板類を右図の要領に従って設置。無線のテスト等も行なっておく。
2. 電気式のカウンタダウン表示装置を使用する場合、ドライバー及びコ・ドライバーから確実に見える位置に設置する。

競技車に対するSSスタート作業

1. 競技車がSSスタート位置にきたら、タイムカードを受け取り「(SS) スタート時刻(実際)」を記入(1)。
 ロードセクションがFIA方式の場合「(TC) スタート時刻(実際)」欄に「(SS) スタート時刻(実際)」と同時刻を記入する。
 選手とスターターオフィシャル(マーシャル)にスタート時刻を伝える。
 問題が起こってない場合は、スタート予定時刻をスタート時刻とする。この際、公平に3分を与えるため、記入された時刻よりも早いスタート時刻を与えてはならない。
 ※注:記入終了後、タイムカードを選手に渡す。
 計時車の横(車外)にタイムカードを手渡す係りがいればなお良い。
2. スターターは、競技車をスタート位置に誘導。
 タイムカードを記入するオフィシャル(マーシャル)から指示された時刻を基準にカウントダウン。
 ドライバー側に立ち、車両の前に旗を掲げる。
 「30秒前」、「10秒前」のコールをし、5秒前からは「5、4、3、2、1」とカウントダウンし0秒のタイミングで旗を降り上げ「ゴー」のコールをする。
 ※イベントにより発光式やデジタル式の自動カウントダウン機器が使用される場合もあり。(この場合は特別規則書に具体的手順が記載されるのでそれに従う)
 ※自動カウントダウン機器を使用の場合、先頭走行競技車や前車との間隔が1分を超える競技車には、分違いの誤スタートを避けるため、スタート分を強く伝達すること。また、1分前ボードを準備し示すことが望ましい。
3. タイムカードを記入したオフィシャル(マーシャル)は、スタートの状況をよく見ておき、反則スタートに対する判定をする。
 反則(フライングスタート)があった場合は早く出た秒数(小数点1桁まで)を記録し、本部に連絡する。

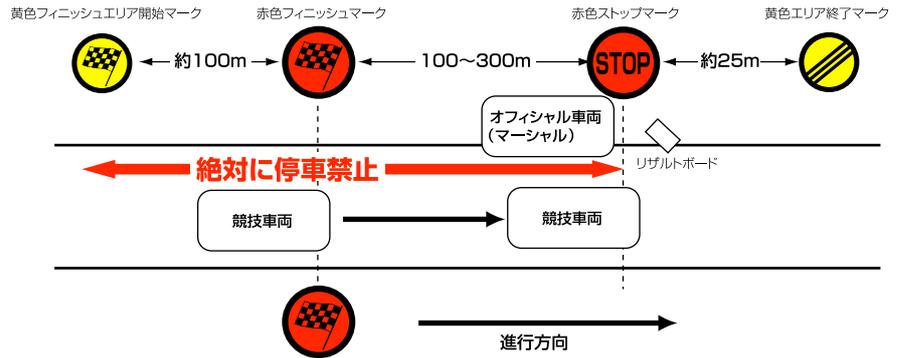
The image shows two timing cards. The top card is a TC (Timing Card) for stage 10, with a 'TARGET TIME' of 00:50. The bottom card is an SS (Start Sheet) for car number 9, with a 'CAR NUMBER' of 35. The 'ACTUAL START' time is handwritten as 16:06. The 'PROVISIONAL Start Time' is also 16:06, and the 'Arrival Time at TC' is 16:03. A red circle highlights the 16:06 in the 'ACTUAL START' field, with an arrow pointing to the text '(1) SSスタート時刻を記入する。' (1) Record the SS start time.

(1) SSスタート時刻を記入する。

基本的には予定時刻にスタートさせて下さい。

予定時刻より早くスタートさせてはならない。

SS FINISH



■ SS FINISH(SSフィニッシュ) オープンの準備

1. SSフィニッシュ用看板類を上図の要領に従って設置。計測オフィシャル(マーシャル)と記入オフィシャル(マーシャル)間も含め、無線のテスト等も行なっておく。
2. STOP地点にリザルトボードの設置。

■ 競技車に対するSSフィニッシュ作業

1. 「フィニッシュライン地点の計測オフィシャル」

計測オフィシャル(マーシャル)はフィニッシュラインの延長上のラインに立ち、競技車がフィニッシュライン(赤色のチェッカーフラッグマーク)を通過した瞬間のタイム(秒単位または1/10秒単位)を計時。

車両の先端がラインを通過した時刻とカーナンバーを無線を使いSTOP地点にいるオフィシャル(マーシャル)に即刻知らせる。

2. 「STOP地点の記入オフィシャル」

選手からタイムカードを受け取る。フィニッシュラインのオフィシャル(マーシャル)から連絡を受けた時刻を「フィニッシュ時刻(実際)」欄に記入する(1/10秒単位まで) (1)。ロードセクション(TC区間)のスタート時刻がSSフィニッシュタイム(時分)の次の分なので「(TC)スタート時刻(実際)」欄に、その時刻(時分)を記入する“(2)”。

3. タイムカード、1枚目(下半分の白色)を切り取りSSフィニッシュで回収(3)。

その後タイムカードを選手に渡す。

計時車の横(車外)にタイムカードを手渡す係りがいればなお良い。

(競技車は速やかにコントロールエリア内から退出する。)

4. 回収したカード(白色)のSSフィニッシュ時刻からSSスタート時刻を引き、所要時間を算出する。

後続車が前走車までのタイムを見られるよう速やかにリザルトボードに記入、本部へゼッケンと所要時間を連絡する。

The image shows two time cards. The top card is a TC (TC section) card with fields for ARRIVAL TIME at TC, DUE TIME, TARGET TIME, ACTUAL START, and TIME TAKEN. The bottom card is an SS (SS section) card with fields for FINISH TIME, ACTUAL START, TIME TAKEN, Provisional Start Time, and Actual Time at TC. Both cards have handwritten entries in red ink.

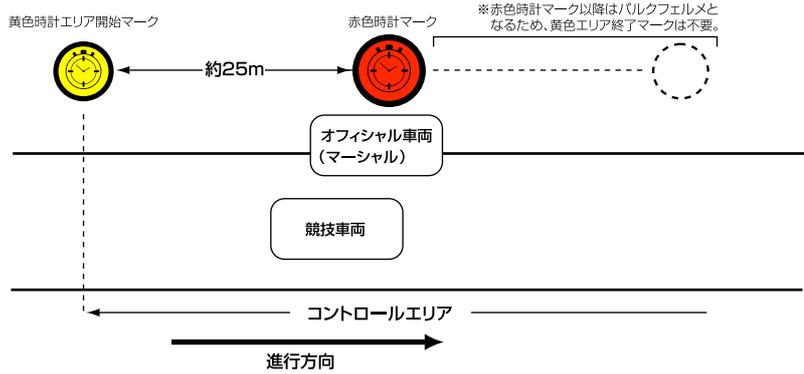
“(2)” SSフィニッシュタイムの次分をSTOPで記入。

注：上記手順は国内事情を考慮して定められた国内規定独特のもので、FIA規定ではSSスタートタイムがロードセクションのスタートタイムとなるため、FIA規定で開催される国際ラリーや同規定に準じた国内ラリーではこの欄にはSSスタートポイントでSSスタートタイムが記入されます。

(1) SSフィニッシュ時刻を記入する。

(3) SS分の控え(白紙)をとる。

TC (リグループIN用)



TC (タイムコントロール) オープンの準備

1. TC用看板類を上図の要領に従って設置。無線のテスト等も行なっておく。
2. 競技車がオフィシャル(マーシャル)車両の横に止まった状態で公式時計が選手から見えるようにセットする。
公式時計：計時に使用する時刻を刻む時計で、選手からも見えやすい大型液晶時計などを推奨。

競技車に対するTC作業

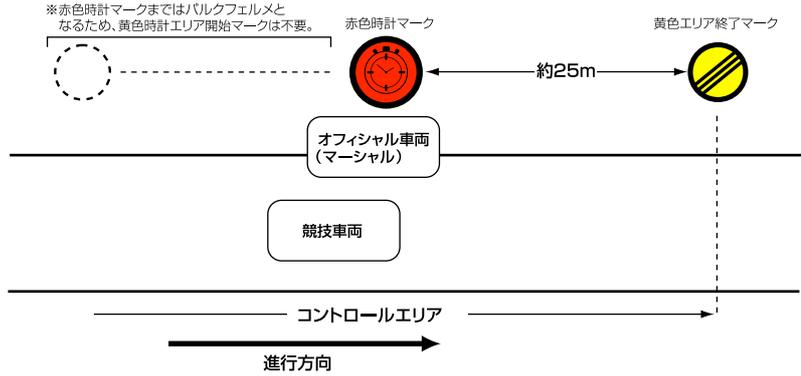
1. 競技車がコントロールエリア開始看板(黄色の時計マーク)を通過し、コントロールエリア内に進入してきたら、進入時刻の確認と選手2名が揃っていることを確認する。
競技車のコントロールエリア内進入は、予定到着時刻の1分前から認められる。
2. 選手からタイムカードを手渡された時刻を確認し、その時刻(時分)を「TC到着時刻」欄に記入する(1)。
3. タイムカードの1枚目(黄色)と2枚目(赤色)を切り取り、黄色はTCで回収、赤色は選手に渡す(2)(3)。
4. リグループカードの「IN TC」欄にTCイン時刻を記入する。
5. リグループカードの「OUT TC」欄は、最初に到着した競技車にはTCイン時刻+リグループタイムの時刻を記入(例: 17°19'にTCイン、リグループタイムが12分の場合は、17°31'を記入)する。
2番目以降に到着した競技車には、TCイン時刻にかかわらず最初の競技車に記入したTCアウトタイムから1分間隔でTCアウトタイムを決め記入する。
到着が遅れ、1分間隔での記入が不可能な場合は、TCインタイムから可能な限り早い時刻をTCアウトに記入する。
6. リグループタイムが15分を超える場合、選手はパルクフェルメ外へ、すみやかに退出する(選手退出を管理するオフィシャルが、すみやかな退出を促すこと)。パルクフェルメへ入場できるのは、リグループアウトタイムの10分前から(パルクフェルメニは選手入場口を設け、時刻をチェックし10分以前には入場を許可しないこと)。
7. リグループカードを選手に渡す。※(タイムカードブックは回収)

- (1) TCイン時刻を記入する。
- (2) TC分の控え(黄紙)をとる。
- (3) 選手控え(赤紙)をとり、選手に渡す。
- (4) TCイン時刻をカードのIN TC欄に記入する。
- (5) TCアウト時刻をカードのOUT TC欄に記入する。

※ JRCA注:タイムカードブックの回収は義務付けではありませんがリグループOUTで新たなタイムカード(ブック)に切り替えることを推奨しています。その場合、ここでは回収することになります。

このカードの使用法
●このカードと到着時刻にそこのタイムカードブックをオフィシャルが回収します。
●Regroup OutはTCの到着時刻は、Regroup In TCの到着時刻とは関係なく表示されます。(原則として全ての車両が1分間隔で到着するよう指示されます)
●このカードへの時刻の記入は、すべてRegroup In TCのオフィシャルが行い、選手はRegroup Out TCのオフィシャルが記入することはありません。
●リグループアウトタイム(10分)の際、新たなタイムカードブックとの切り替えが必要です。

TC (リグループOUT用)



TC (タイムコントロール) オープンの準備

1. TC用看板類を上図の要領に従って設置。無線のテスト等も行なっておく。
2. 競技車がオフィシャル(マーシャル)車両の横に止まった状態で公式時計が選手から見えるようにセットする。
公式時計：計時に使用する時刻を刻む時計で、選手からも見えやすい大型液晶時計などを推奨。

競技車に対するTC作業

1. 選手からREGROUPタイムカードを手渡された時刻を確認し、タイムカードのOUT TCのタイムと見比べ遅れている場合はその旨を選手に告げ、到着時刻を控えておく。
2. **※新しいタイムカードの1ページ目の「(TC) スタート時刻(実際)」欄に時刻を記入(通常は「REGROUP」タイムカードのOUT TCタイムと同一)**。遅着した競技車は到着した時刻を記入する。早く到着した競技車はOUT TCタイムと同一の時刻を記入し、その時刻になるまで待たせる。
3. **※新しいタイムカード(ブック)を選手に渡す。(REGROUPタイムカードは回収)**

※ JRCA注：JAF規定では義務付けではありませんがリグループOUTから新たなタイムカード(ブック)に切り替えることを推奨しています。

REGROUP
OUT TC **11C**
ARRIVAL TIME at TC
TC到着時刻
17:37
リグループOUT予定時刻を
オフィシャルが記入します。
IN TC **11B**
ARRIVAL TIME at TC
TC到着時刻
17:19
CAR NUMBER
35
このカードの使用法
●このカードは到着時刻にまでこのタイムカードブックをオフィシャルが回収します。
●Regroup Out TCの到着時刻は、Regroup In TCの到着時刻とは関係なく指定されます。
(原則として全ての車種が1分間隔で到着するよう指示をします)
●このカードへの時刻の記入は、すべてRegroup In TCのオフィシャルが行い、選手及びRegroup Out TCのオフィシャルが記入することはできません。
●リグループエリア再入場(10分前)の際、新たなタイムカードブックとこのカードを引替えます。
STAMP/SIGN
署名
Page

-----▶ (1) 回収する。

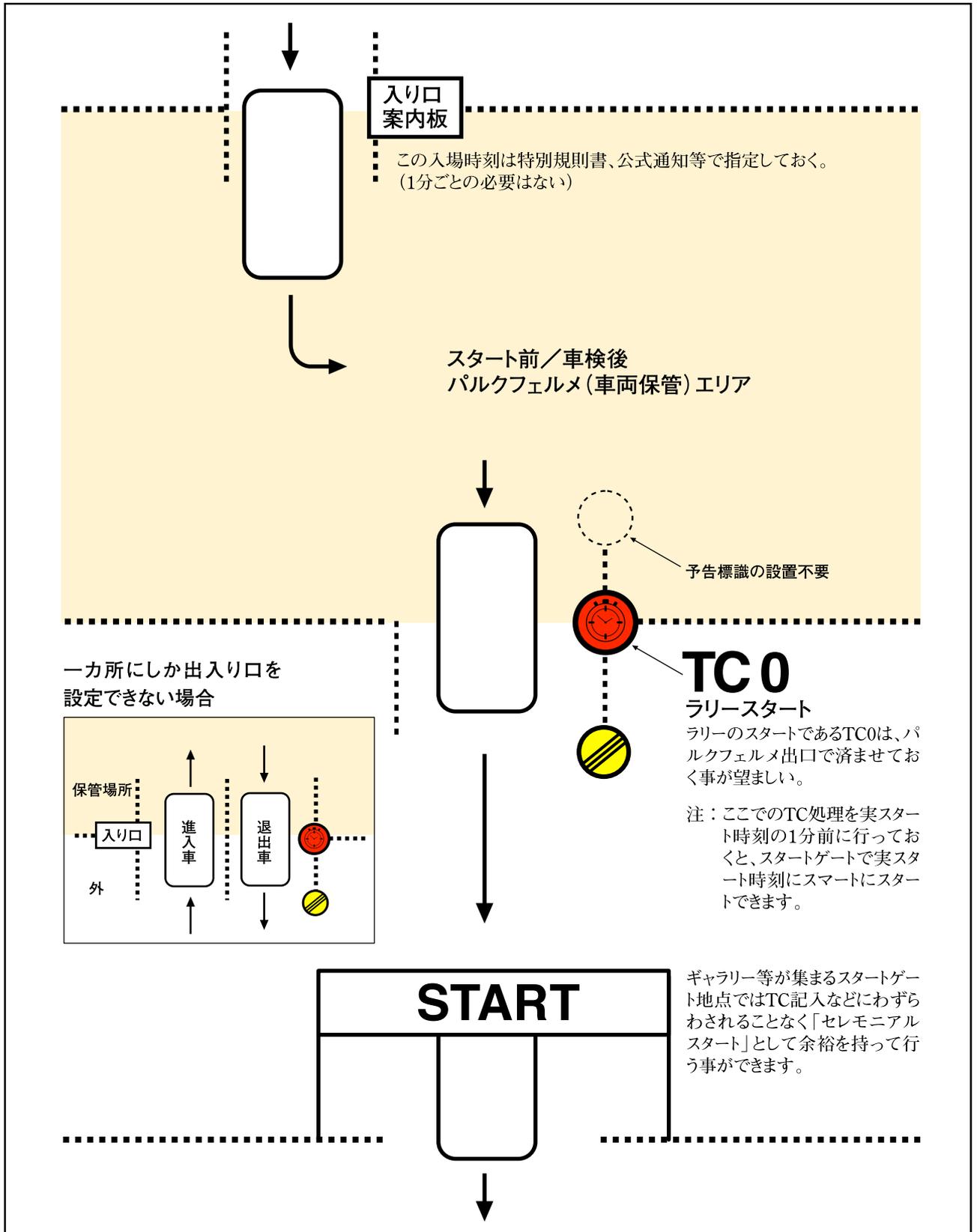
(2) 新しいタイムカードの1ページ目
OUT TCタイムを記入。

TC 12
ARRIVAL TIME at TC
TC到着時刻
17:37
DUE TIME (Competitor Use)
到着予定時刻(選手使用)
00:45
TARGET TIME
目標時刻
17:37
ACTUAL
START TIME(実際)
17:37
TIME TAKEN
所要時刻
CAR NUMBER
35
STAMP/SIGN
署名
Page **8**

推奨TC配置例について

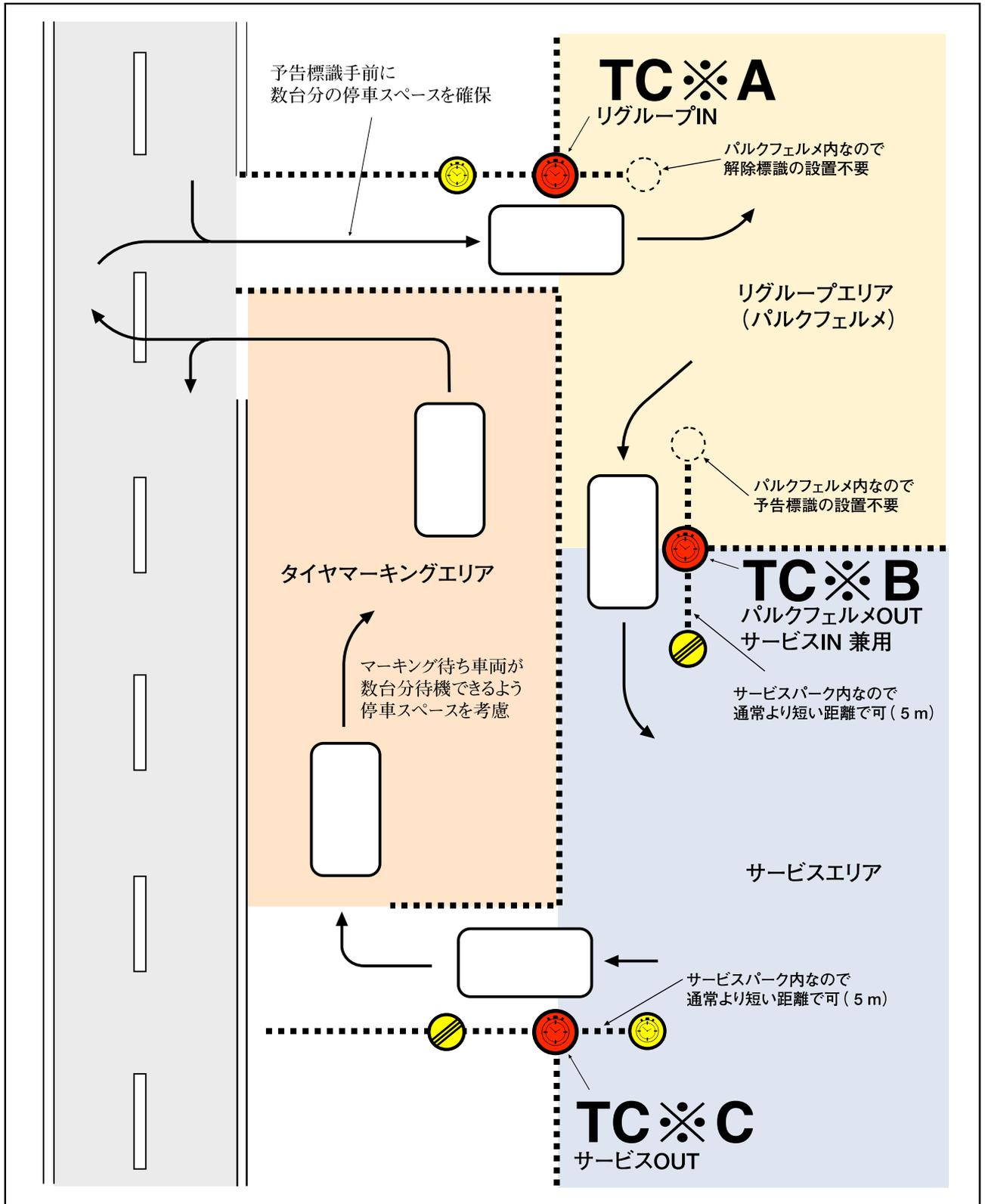
■ TC配置 (車検後・ラリースタート前車両保管例)

- スタート前のパルクフェルメは整然と車両を並べることによってスタートを順序どおりスムーズに行うことができ、同時にギャラリー等に好印象をアピールすることになります。
- スタート (TC0) のタイムカード処理は各競技車のスタート時刻の記入のみです。



■ TC配置(リグループ&サービス配置例)

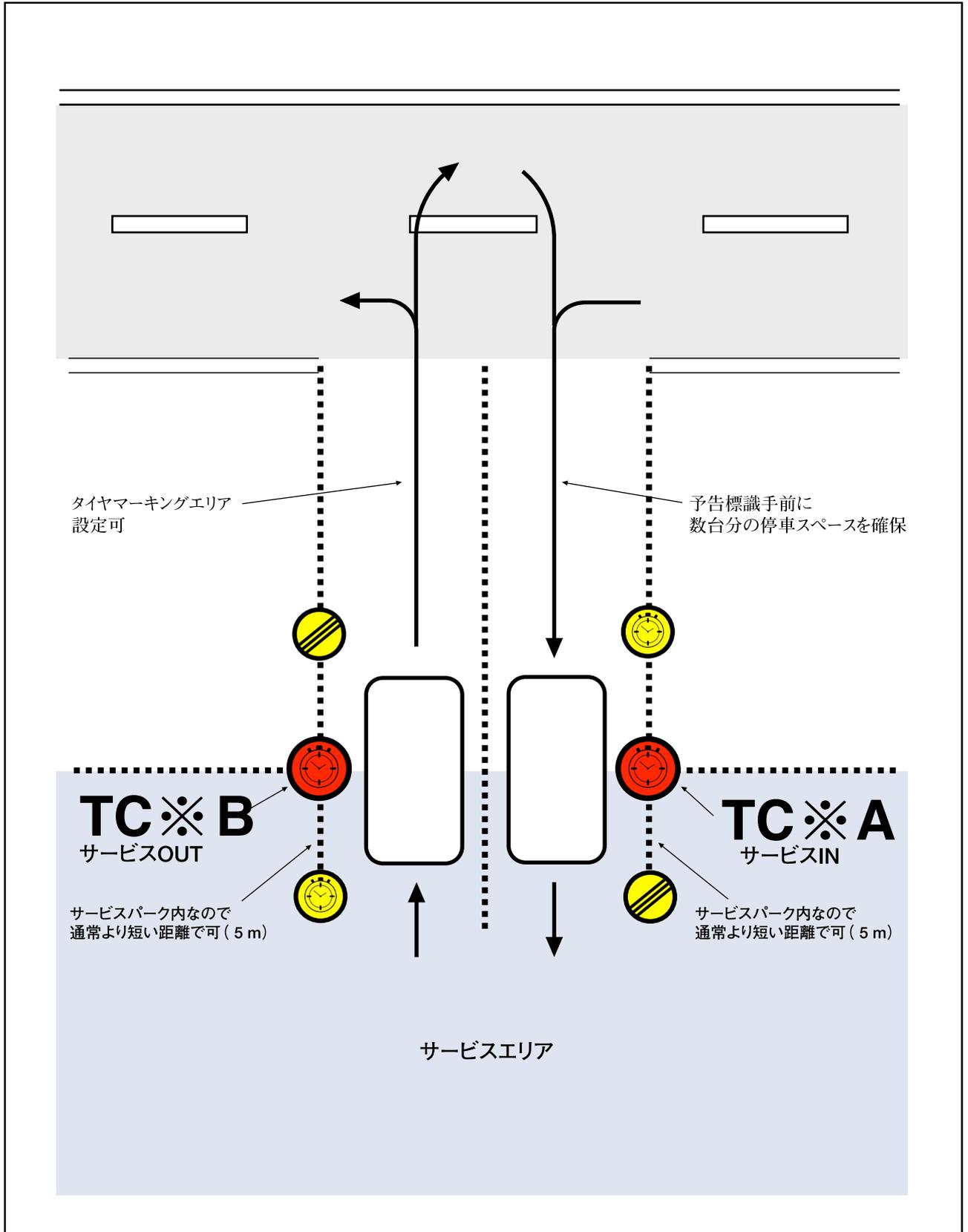
- リグループエリアはパルクフェルメとなるので、コントロールゾーンの解除ならびにリグループエリア出口/サービスIN兼用TCのコントロールエリア開始標識は不要です。
- タイムカード処理は一般TCと同様です。TC※A(リグループIN)でTC※B(リグループOUT)の時刻を指定します。



注：タイヤマーキングエリアはサービスパーク内ではなく、必ずサービスパークOUTの直後に設定のこと。

■ TC配置 (サービス単独設定の場合の配置例)

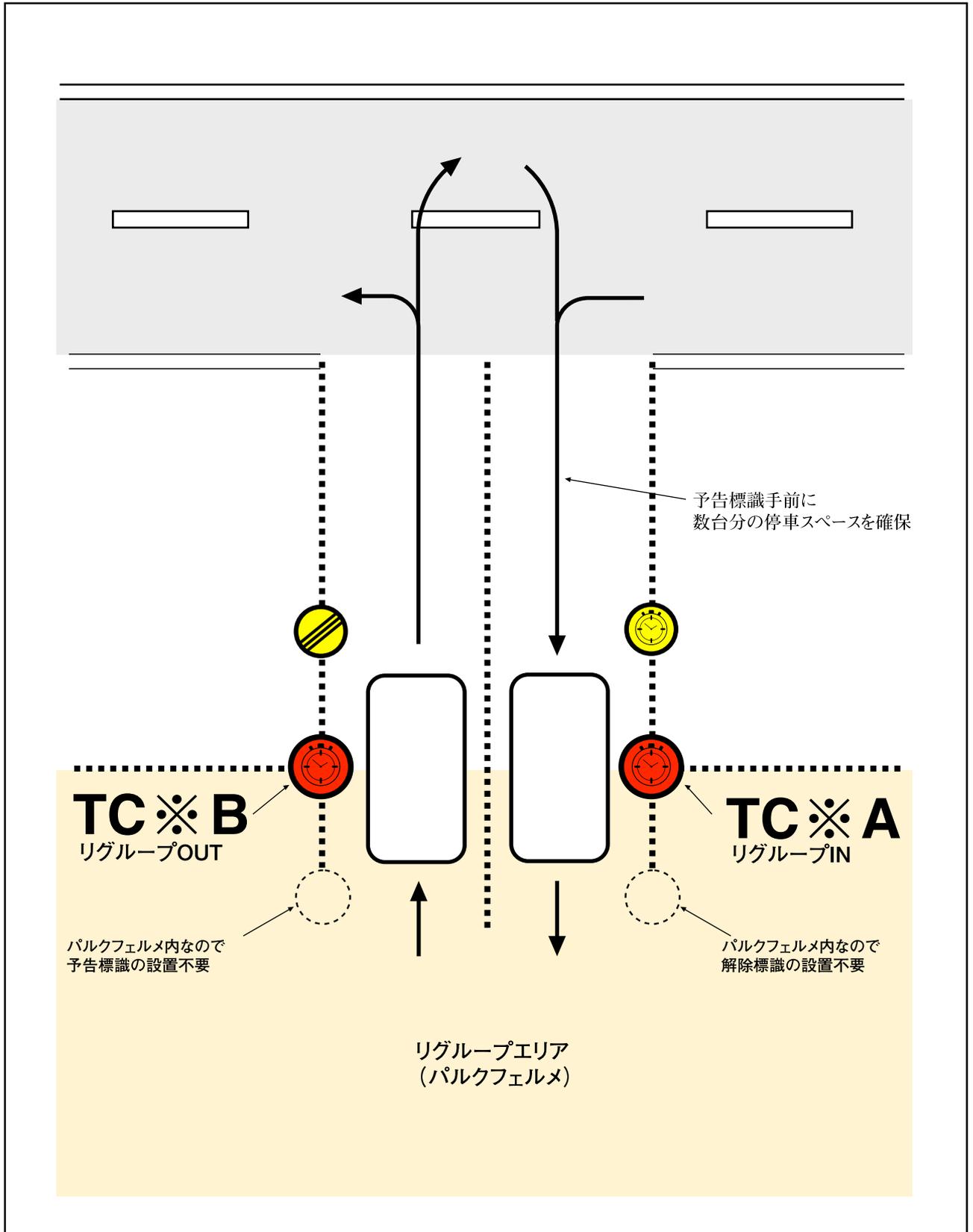
- サービスIN~OUTの場合は車両に対して作業を行うのでIN、OUTともエリア開始標識、エリア終了標識の両方が必要になります。
- タイムカード処理は一般TCと同様です。



注：タイヤマーキングエリアはサービスパーク内ではなく、必ずサービスパークOUTの直後に設定のこと。

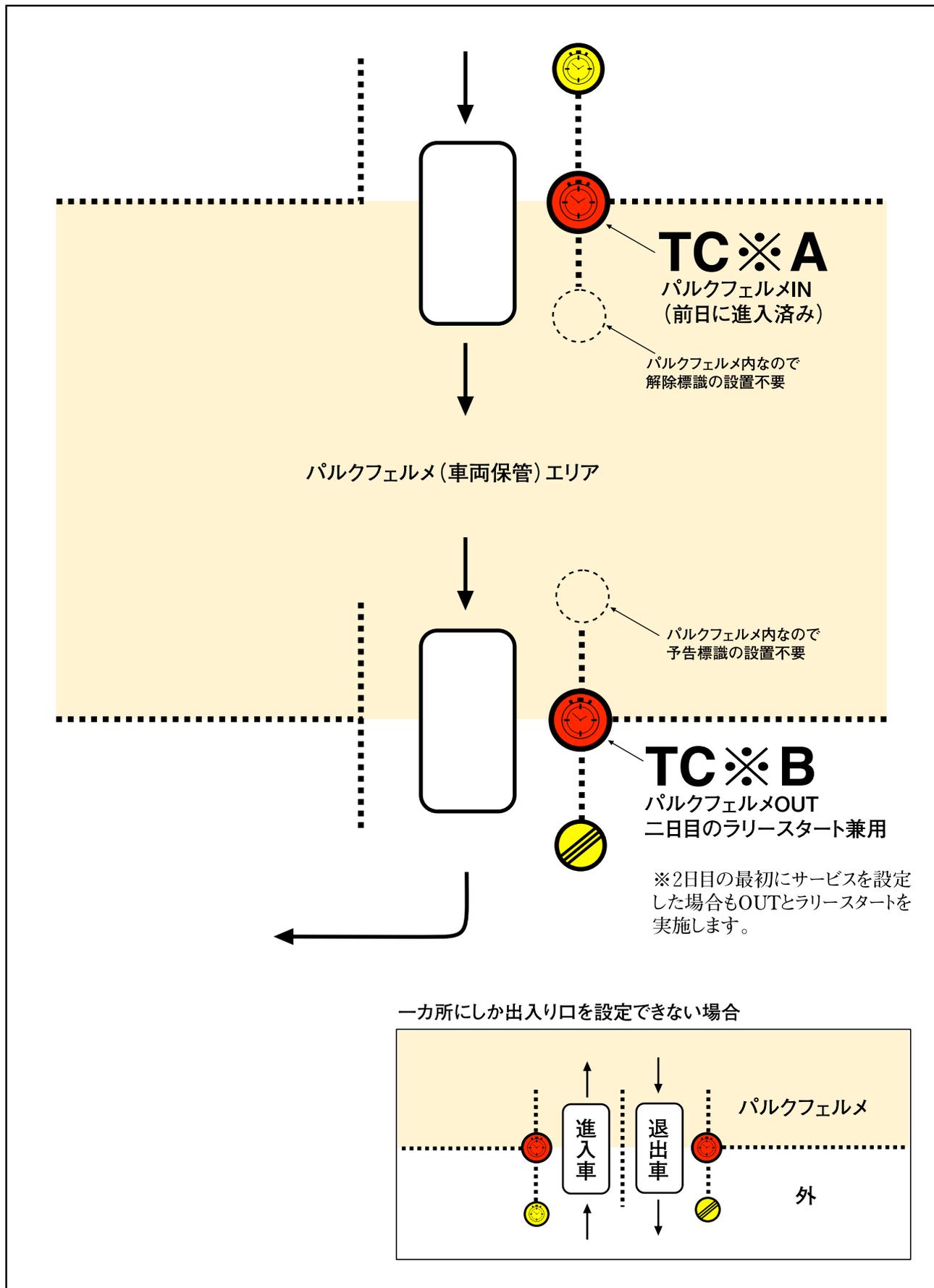
■ TC配置 (リググループ単独設定の場合の配置例)

- パルクフェルメ内はコントロールエリアなので、進入時のコントロールエリア終了マークおよび退出時のコントロールエリア開始マークは不要です。
- タイムカード処理は一般TCと同様です。TC※A(リググループIN)でTC※B(リググループOUT)の時刻を指定します。



■ TC配置(二日目スタート前のパルクフェルメ例)

● タイムカード処理は一般TCと同様です。



ロードブックの推奨フォームについて

ロードブックに記載する内容

2003年よりJAFモータースポーツイヤーブック「ラリー競技会組織に関する規定」(現:「ラリー競技開催規定」)にロードブックに関する推奨様式が以下のとおり制定されました。なお、最新のJAFモータースポーツイヤーブックの内容を良くご確認ください。

別添3：ロードブック推奨様式

1. ロードブックの仕上がり寸法はA5サイズとする(綴じ具は含まない)。
2. 表紙には「ROAD BOOK」または「ロードブック」と標記し、表紙(1枚目)と最終ページは厚手の用紙を使用すること。
3. 360度開くことが可能で十分な強度を持つ綴じ具(リング式金具等)を使用し、左綴じ製本とすること。
4. 本文ページは通常片面印刷とするが、ページ数が多い場合は両面に印刷してもよい。いずれの場合も、片側の印刷が透けて見えないように、適度な厚さの用紙を使用すること。
5. 全ページとも白い用紙を使用すること。スペシャルステージ(SS)についても色の付いた用紙を使用する必要はないが、コマ図に網掛けをして表示すること。
6. 複数のロードブックを作成する場合(デイが複数設定される場合等)は、識別しやすいように配慮すること(例:表紙にデイ番号を大きく表示する、表紙の色を変える等)。
7. 見出し、項目等は日本語のほか英語を併記しておくことが望ましい。
8. 各ロードセクションおよび各SSごとに必ずページを改めること。また、SSフィニッシュ後のストップポイントでもページを改めること。
9. 未舗装路面の場合はコマ図欄と備考欄の間の欄を黒く塗りつぶすこと。
10. SSのページを見つけやすくするためにSSの番号を綴じ側と反対側の欄外に表示してもよい。
11. タイムコントロール(TC)に続いてSSが設定されている場合、そのTCからSSスタートまでの距離をTCの備考欄に()でくくって表示すること。
- ※12. 各ページのコマ図表示は5コマを標準とし(最大でも6コマまでとする)、様式および記入方法等は別掲見本に準じること。
13. わかりにくい場所等での混乱を避けるために、コントロール地点の写真や略図が必要と思われる場合には挿入してもよい。
14. ロードブックには下記が含まれていなければならない。
 - (1) ラリー行程表(別掲見本参照)
 - (2) コース全体図: ラリーのスタート/フィニッシュ、SS、リグルーピングの場所、サービスパーク、救急施設およびその他のラリーに関する施設を地図上に表示すること。
 - (3) 各レグまたは各セクションごとの概略地図
 - (4) 各SSごとの周辺地図(略図): 各SSの最初のページの前に挿入し、以下の表示を含むものとする。
 - ・縮尺
 - ・方位(北方表示)
 - ・レッキのルート
 - ・キャンセル時の迂回ルート
 - ・SSのスタート/フィニッシュ地点(写真を挿入してもよい)
 - ・ラジオポイントおよび緊急車両待機地点

前ページから続く

- (5) リタイヤ届け
- (6) A4サイズ以上の赤色または緑色のSOSおよびOKサイン：非常時に開いて使用できるように、巻末等に折り畳んで綴じ込んでおくこと。
- 15. ロードブックに使用される記号類は、ロードブックの冒頭のページにその説明を記載すること。
- 16. ロードブックには、下記の情報を必ず記載すること。
 - ・病院または医療機関の連絡先
 - ・ラリー本部(ヘッドクォーター)と最寄りの警察署、消防署等の電話番号
 - ・公式通知および競技結果類の掲示場所または配布場所
 - ・リタイヤ届け
- 17. 上記の他、ラリー中に必要な情報を記載した書類、または各種申告書・届出用紙等を綴じ込んでよい。

JRCA補足説明 ロードブック中の記号類について

ロードブック上での施設の記号、目印の記号などは特に規格を限定しませんが、下記のものを参考に誰にでもわかるよう記号等を作成し、ロードブック内で統一して使用すること。

<p>標識位置等</p>	<p>信号</p>	<p>通行止め</p>	<p>緊急車両待機所</p>	<p>SOS(ラジオ/無線)ポイント</p>	<p>道標等</p>
<p>橋(川)</p>	<p>線路(踏切)</p>	<p>トンネル</p>	<p>医師待機所</p>	<p>一般道路標識等</p>	<p>立て札、カーブミラー等</p>

ロードブックのページ順例

ロードブックのページ順は、イベント内容や状況によって異なると思われませんが、標準的な一例を記しましたのでご参考にしてください。

- | | |
|--|-------------------------------------|
| 1. 表紙 | (3) 各サービスのサービス会場を含む周辺略図 |
| 2. 緊急連絡先一覧 | (4) サービスパーク会場(含むリグループエリア)の見取り図および順路 |
| 3. ロードブックで使用される記号一覧 | (5) フィニッシュ/車両保管場所の見取り図および順路 |
| 4. ラリー行程表 | 8. リタイヤ届け |
| 5. ヘッドクォーター(本部)/ドライバーズ・ブリーフィング会場/表彰式会場等の見取り図 | 9. 全コース概略図 |
| 6. 車検/スタート場所の見取り図および順路 | 10. OKサイン |
| 7. コマ図 | 11. SOSサイン |
| (1) 各TCのTCを含む周辺略図 | *この他に8と9の間に下記などを追加してもよい。 |
| (2) 各SSのコース(スタート、フィニッシュ、ラジオポイント、救急車配置ポイント等)を含む周辺略図(SSがキャンセルされた場合の迂回ルートを含む) | (1) エントリーリスト |
| | (2) 車両整備申告書 |
| | (3) 全選手のSSタイム記入用紙 |

JRCA注釈 タイムコントロール (TC) の番号 (数字) は、直後のSS番号と一致させること。SSとSSの間に複数のTCが設置される場合は、数字の後にA、B、C、…の記号を付けることで、TCとそれに続くSSの数字を常に一致させることができます。

ラリー行程表

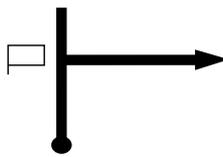
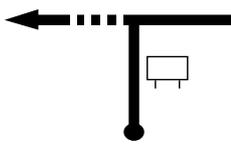
※'05年からJAFモータースポーツイヤーブックの工程表推奨例にはRS (ロードセクションスタート) の行が追加されています。

また、通常の国内ラリーでは規則上SSフィニッシュタイムの次分がロードセクションのスタート時刻とされるため、その行があります (RS：ロードセクションスタート)。ただし、ロードセクションにSSが含まれる競技形式の場合はRS (ロードセクションスタート) の行はありません

TC		Location	SS dist.	Liaison dist.	Total dist.	Target time	First car due
SS		場所	SS距離	リエゾン距離	総移動距離	基準所要時間	1号車時刻
Section 1							
0	Start - Leg 1	レグ1スタート	-	-	-		09:20
0A	Service A in	サービス入口	-	0.12	0.12	0:05	09:25
	Service A (Taiyokougen)	サービスA (太陽高原)	(-)	(0.12)	(0.12)	0:20	
0B	Service A out	サービス出口	-	-	-		09:45
1	Tsukikawa	月川	-	4.63	4.63	0:09	09:54
SS1	Tsukikawa	月川	11.42	-	-	0:12	09:57
SS1 RS							10:10
2	Hoshiyama Park	星山公園	-	11.94	23.36	0:24	10:34
SS2	Hoshiyama Park	星山公園	14.63	-	-	0:14	10:37
SS2 RS							10:52
3	Shinrin Mountain	森林山	-	9.33	23.96	0:20	11:12
SS3	Shinrin Mountain	森林山	17.24	-	-	0:17	11:15
SS3 RS							11:33
3A	Regroup in	リグループ入口	-	6.47	23.71	0:13	11:46
	Regrouping - Parc ferme	リグループ				0:15	
3B	Regroup out/ Service B in	リグループ出口/ サービス入口					12:01
	Service B (Hinodedaira)	サービスB (日の出平)	(43.29)	(32.37)	(75.66)	0:45	
Section 2							
3C	Service B out	サービス出口	-	-	-		12:46
4	Tsukikawa	月川	-	16.41	16.41	0:30	13:16
SS4	Tsukikawa	月川	11.42	-	-	0:12	13:19
SS4 RS							13:32
5	Momiji Park	もみじ公園	-	6.13	17.55	0:13	13:45
SS5	Momiji Park	もみじ公園	6.27	-	-	0:06	13:48
SS5 RS							13:55
6	Shinrin Mountain	森林山	-	11.11	17.38	0:22	14:17
SS6	Shinrin Mountain	森林山	17.24	-	-	0:16	14:20
SS6 RS							14:37
7	Nakamizu River	中水川	-	5.42	22.66	0:11	14:48
SS7	Nakamizu River	中水川	6.63	-	-	0:07	14:51
SS7 RS							14:59
7A	Service C in	サービス入口	-	4.69	11.32	0:12	15:11
	Service C (Suzukazekouen)	サービスC (涼風公園)	(41.56)	(43.76)	(85.32)	0:20	
7B	Service C out	サービス出口					15:31
8	Tsukikawa	月川	-	4.63	4.63	0:09	15:40
SS8	Tsukikawa	月川	11.42	-	-	0:12	15:43
SS8 RS							15:26
9	Hoshiyama Park	星山公園	-	11.94	23.36	0:22	16:18
SS9	Hoshiyama Park	星山公園	14.63	-	-	0:14	16:21
SS9 RS							16:36
9A	Service D in	サービス入口	-	2.21	16.84	0:10	16:46
	Service D (Taiyokougen)	サービスD (太陽高原)	(26.05)	(24.24)	(50.29)	1:00	
9B	Service D out	サービス出口					17:46
9C	Finish - Day 1	デイ1フィニッシュ		0.12	0.12	0:05	17:51
	Day 1 Total	デイ1総距離	110.90	100.61	211.51		

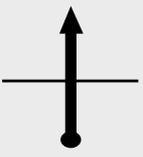
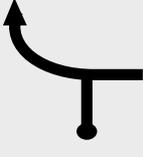
JRCA注釈 JAFモータースポーツイヤーブックに記載の推奨例とは多少異なりますが、ここでは6コマタイプを掲載しています。

ロードセクションコマ図

TC to TC Distance / 距離		Direction 進路	Information 備考	Dist. to go 残り距離
Total / 積算	Partial / 区間			
TC 13 - Minamikawa (南川)		Liaison dist. / リエゾン距離	Day 2	Page 12
TC 14 - Mitsuhashi (三ツ橋)		24.60km	Section 3	
		Average / リエゾン平均速度	Target time / リエゾン目標所要時間 48min	
		29.49km/h		
18.46	0.34	49 		6.14
19.63	1.17	50 		2.89
20.67	1.04	51 		3.93
21.03	0.36	52 		3.57
24.60	3.57	53 		0.00
			(0.07)	

JRCA注釈 JAFモータースポーツイヤーブックに記載の推奨例とは多少異なりますが、ここでは6コマタイプを掲載しています。

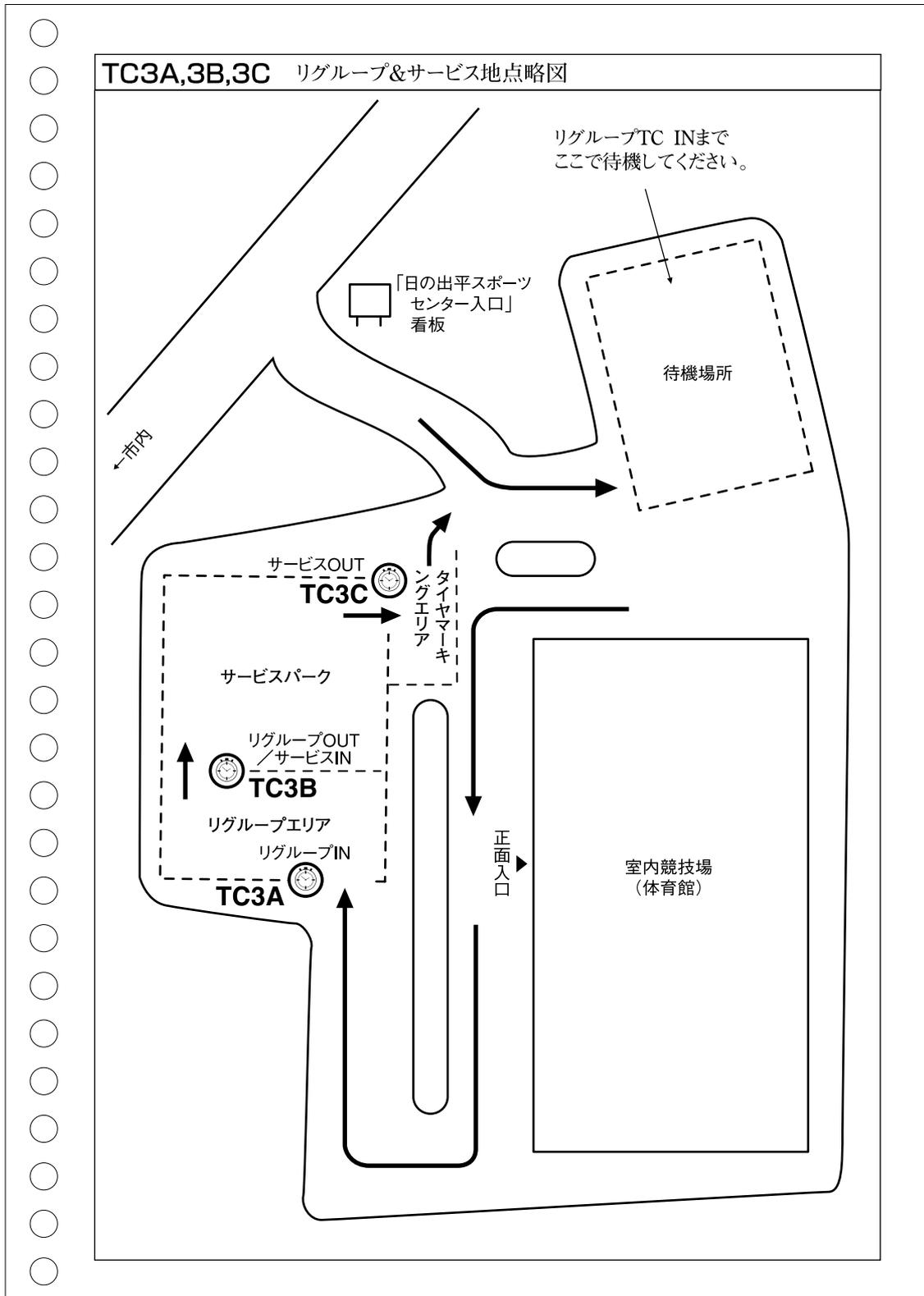
スペシャルステージコマ図

TC 14 - Mitsuhashi(三ツ橋)		距離	Day 2	Page
TC 15 - Kitayama(北山)		31.92km	Section 3	13
SS14 Mitsuhashi		12.64km	SS Average / SS平均速度 47.40km/h	SS Time Allowed SS基準所要時間 16min
TC to TC Distance / 距離		Direction 進路	Information 備考	Dist. to go 残り距離
Total / 積算	Partial / 区間			
0.00	0.05 0.00	1  12.64	 SS 14	31.92
0.93	0.93	2  11.71		30.99
1.74	0.81	3  10.90		30.18
5.15	3.41	4  7.49		26.77
5.36	0.21	5  7.28		26.56
6.68	1.32	6  5.96		25.24

JRCA補足説明

リグループ&サービス地点略図

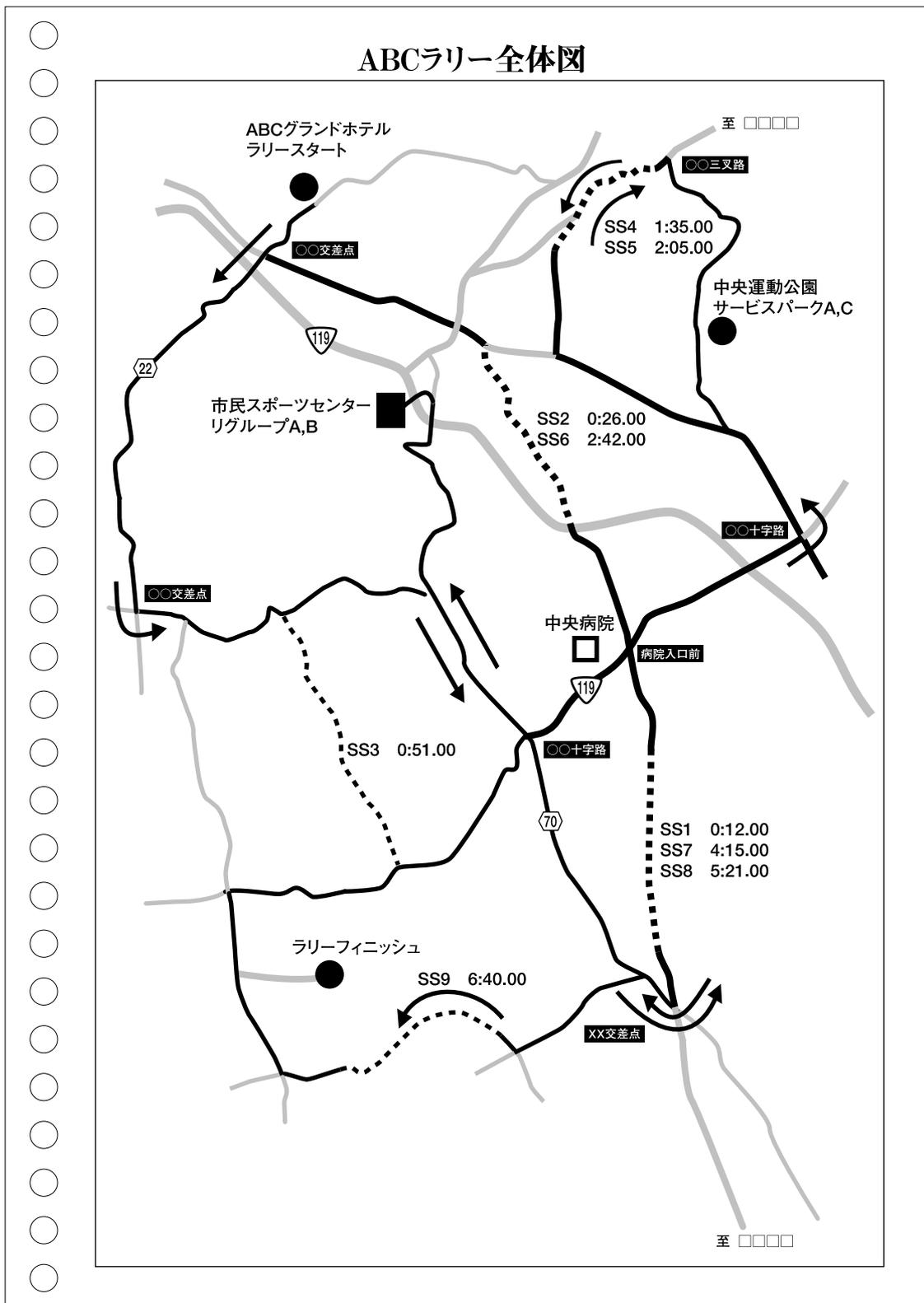
大きな施設などを移動させる場合にも見取図、順路の指示ページを必ず設定し、円滑な移動と公平な競技進行に配慮する。



JRCA補足説明

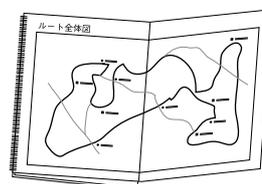
ルート全体図

全体図はラリーに関わる者すべてがそのラリーの進行状況を予測したり、把握するために必要。また、リタイヤ車両の救出やリタイヤ時、キャンセル時の迂回路を検討する際にも重要です。



注：このラリー全体図は(19)ラリー行程表の見本とは一致していません。表記の見本としてご覧ください。

広いページが必要な場合は、2ツに折りたたんで入れて可。



サービスブックの推奨フォームについて

サービスブックに記載する内容

2003年よりJAFモータースポーツイヤーブック「ラリー競技会組織に関する規定」(現:「ラリー競技開催規定」)にサービスブックに関する推奨様式が以下のとおり制定されました。なお、最新のJAFモータースポーツイヤーブックの内容を良くご確認ください。

別添4：サービスブック推奨様式

1. サービスブックの仕上がり寸法は、ロードブックとの見分けを容易にするため、A4サイズ(綴じ具は含まない)とし、リング式金具またはワイヤー等の綴じ具で製本すること。
2. 表紙には「SERVICE BOOK」または「サービスブック」と標記し、表紙(1枚目)と最終ページは厚手の用紙を使用すること。
3. サービスブックには下記が含まれていなければならない。
 - ・ サービスに関する規則の概略および注意すべき事項
 - ・ ラリー行程表(ロードブックと同一のもの)
 - ・ コース全体図(ロードブックと同一のもの)
 - ・ 各デイまたは各セッションごとの概略地図(ロードブックと同一のもの)
 - ・ 各サービスパーク付近の地図(必要とされる施設および情報を記載すること)
 - ※ ・ 各サービスパーク付近の病院または医療機関の電話番号
 - ・ 各サービスパーク内の見取り図
4. 各サービスパーク内の見取り図には下記を表示すること。
 - ・ 特定のエントラント(参加台数の多いチーム等)に特定の場所を割り当てる場合は、その位置を明示
 - ・ サービス車両の入口/出口
 - ・ サービスパークの路面状況
 - ・ タイヤマーキングエリアなどの指定エリア
 - ・ TC(サービスパーク入口/出口、リグルーピングエリアの入口/出口等)は、TC番号とともに表示
 - ・ 緊急車両、医療班等の待機場所
 - ・ サービスパーク内のオフィシャル(マーシャル)本部
 - ・ 公式通知、競技結果類の掲示場所上記のほか、必要に応じて下記の情報も表示することが望ましい。
 - ・ 駐車場(チーム関係者用、競技役員用、プレス用等)
 - ・ 協賛企業用スペース
 - ・ 洗車場所
 - ・ その他の設備(公衆電話、プレス用電話、トイレ、水道、ゴミ箱等)
5. サービスパークへの移動推奨ルートをコマ図で表示することが望ましい。
6. 上記の他、各サービスパークに関して必要と思われる情報があれば、可能な限り掲載しておくこと。

※ JRCA注：サービススタッフが病院へ急行しなければならない場合に備えて、サービスパークから病院等への地図を記載しておくことを推奨します。

サービスパーク地図

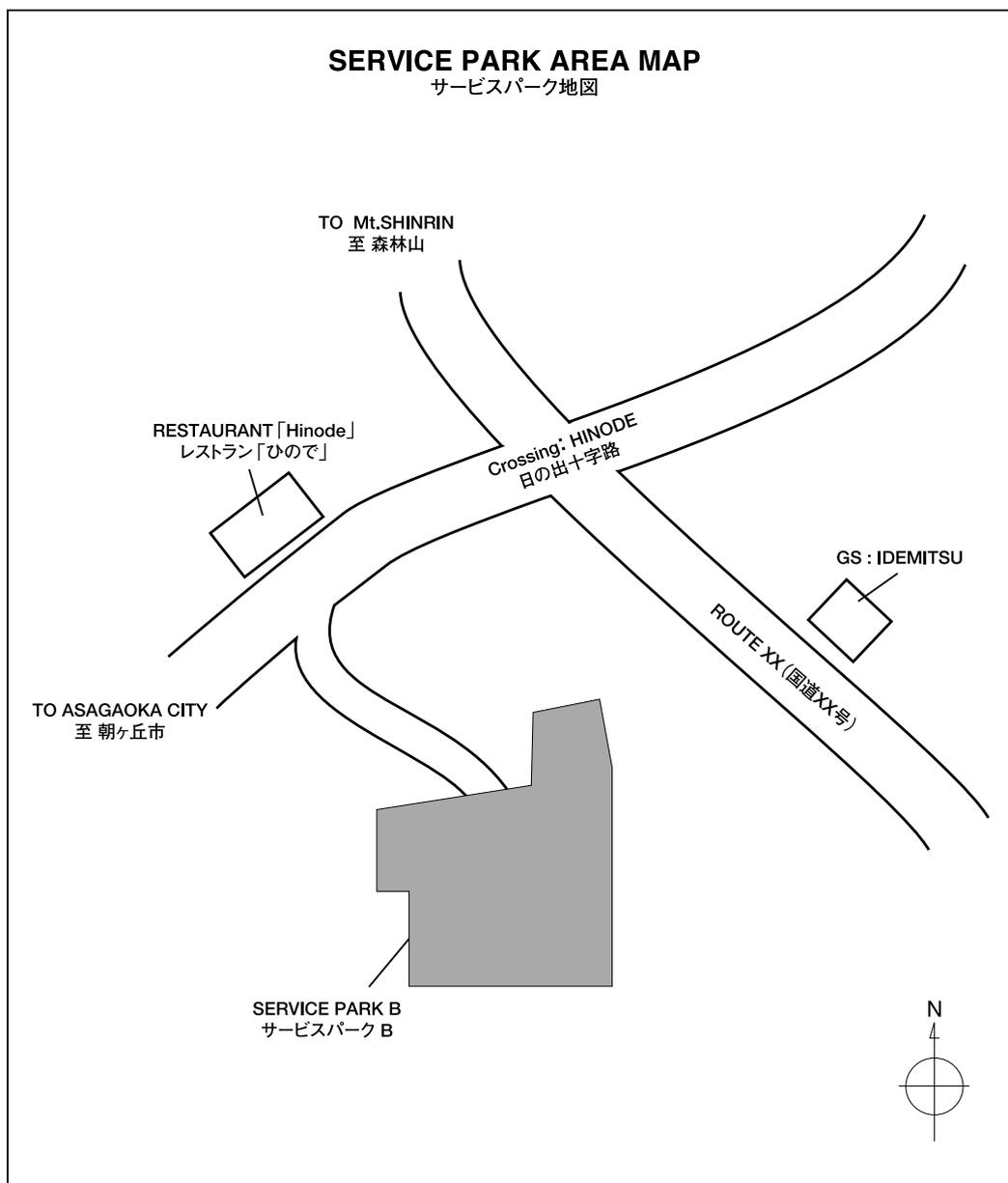


ABCD RALLY

Name 地名	Date 年月日	1st Car Due 1号車到着時刻	Service Time サービス時間	Service Ref. サービス識別記号
Hinodedaira 日の出平	04.01.02	12:01	45'	B

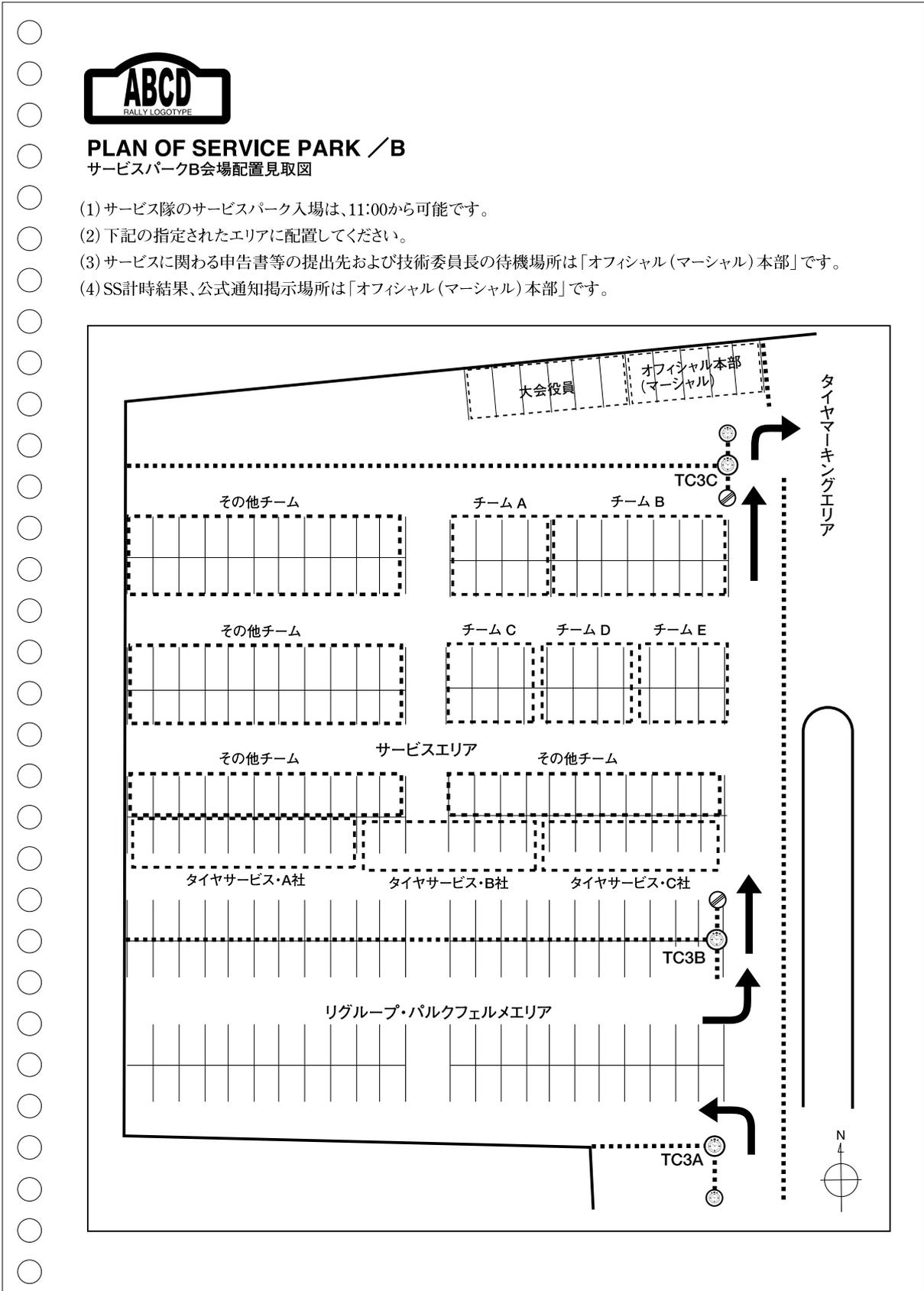
SERVICE PARK AREA MAP

サービスパーク地図

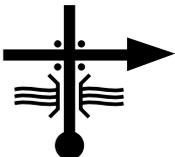
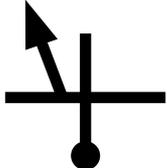
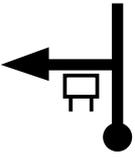
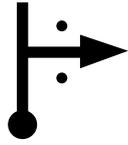


JRCA注釈 注：タイヤマーキングエリアはサービスパーク内ではなく、必ずサービスパークOUTの直後に設定のこと。

サービスパーク見取り図



サービス移動コマ図

 ABCD RALLY			Service Ref. サービス識別記号 A / C
SERVICE ROUTE No.5 (サービスパーク移動コマ図)			
TOTAL KM. 積算距離	INTER 区間距離	DIRECTION 進路	INFORMATION 備考
0.00	0.00		START LINE スタートライン
0.20	0.20		!! TRAFFIC 合流注意
3.75	1.25		ZZZ RIVER BRIDGE ZZZ川大橋
16.25	12.50		S:Tyuo-Gosaro 信号：中央五差路
17.00	0.75		SIGNBOARD:ENTER to C.U.PARK 看板：公園入り口
18.20	1.20		SERVICE PARK サービスパーク

JRCA注釈 JAFモータースポーツイヤーブック掲載の推奨例に加え、コマ図間の距離が0.2kmを超える場合はラインを入れる(0.2km以下のコマ図間のラインは不要)ことを推奨します。

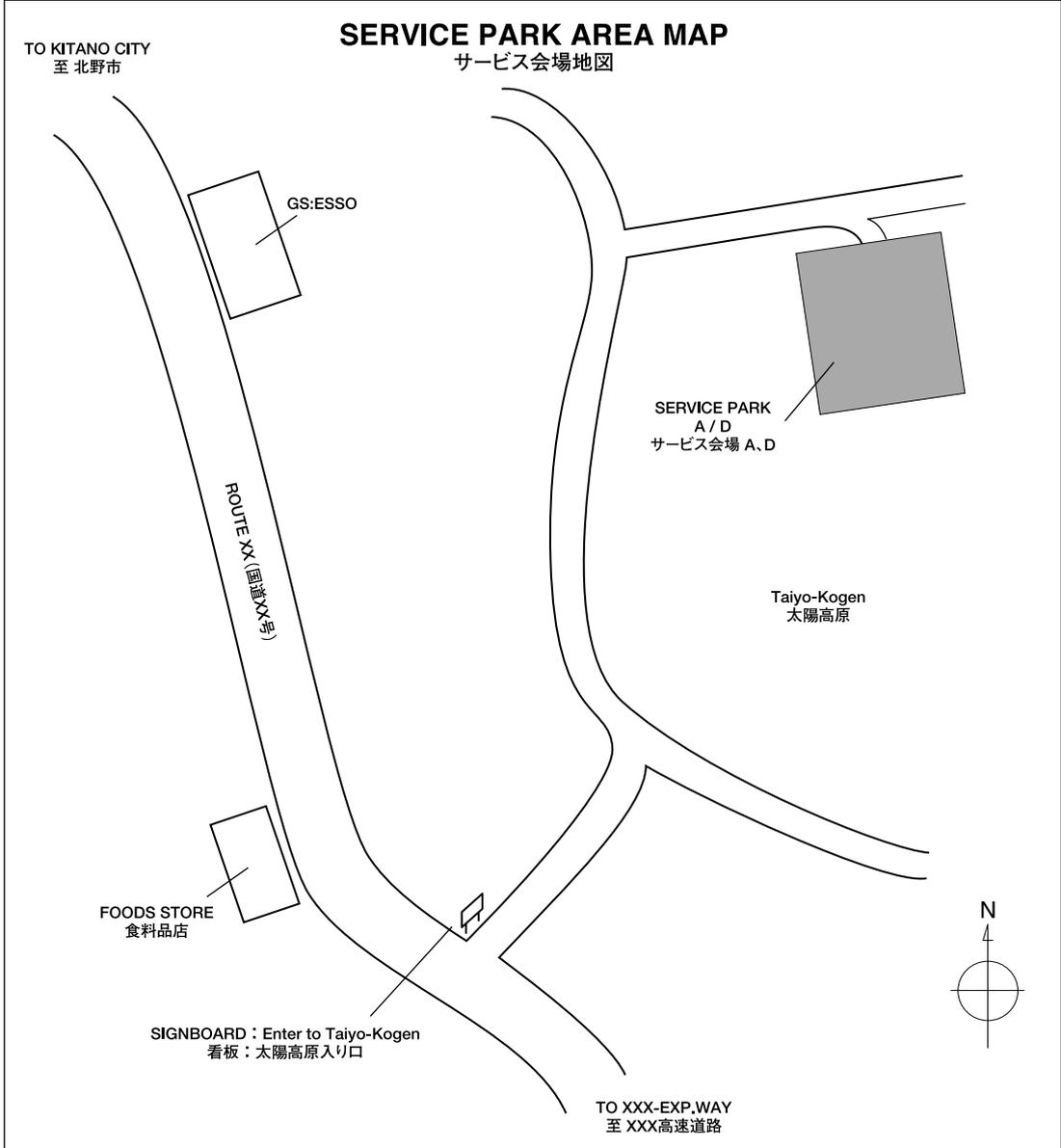
同一場所で複数回のサービスをおこなう場合には、下記のように予定時刻等が明記されたページが必要です。

JRCA補足説明

サービスパーク地図 (同じ場所で2度以上サービスを実施するケースの例)

	ABCD RALLY			
Name 地名	Date 年月日	1st Car Due 1号車到着予定時刻	Service Time サービス時間	Service Ref. サービス識別記号
Taiyo-Kogen 太陽高原	04.01.02	09:25	0:20	A
				Service Ref. サービス識別記号
Taiyo-Kogen 太陽高原	04.01.02	16:46	1:00	D

SERVICE PARK AREA MAP
サービス会場地図



TO KITANO CITY
至北野市

GS:ESSO

ROUTE XX (国道XX号)

FOODS STORE
食料品店

SIGNBOARD: Enter to Taiyo-Kogen
看板: 太陽高原入り口

TO XXX-EXP.WAY
至XXX高速道路

SERVICE PARK
A / D
サービス会場 A、D

Taiyo-Kogen
太陽高原

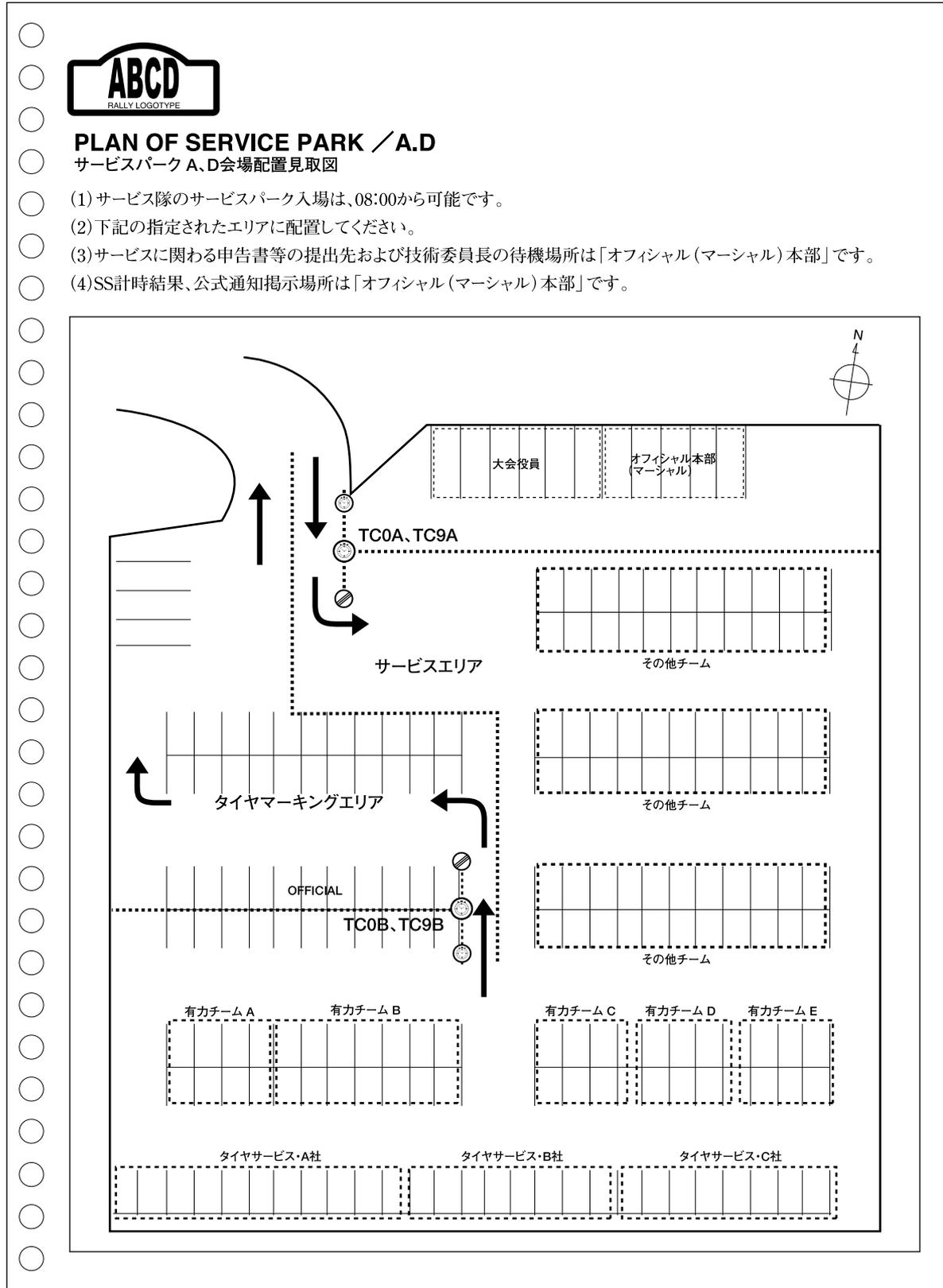
N
↑

スペースの都合上、サービスパーク直前にリグループを設定できない場合の見取図例です。この場合も順路の見取図は円滑な移動のために必要です。またサービスパーク入口のタイムコントロールに車両がたまるので、入口までに車両がたくさん並んでもよい充分なゆとりが必要です。

JRCA補足説明

リグループのないサービスパーク設置地図

注：タイヤマーキングエリアはサービスパーク内ではなく、必ずサービスパークOUTの直後に設定のこと。



タイムカードの運用について

2003年よりJAFモータースポーツイヤーブック「ラリー競技会組織に関する規定」(現:「ラリー競技開催規定」)にタイムカードに関する推奨様式が以下のとおり制定されました。なお、最新のJAFモータースポーツイヤーブックの内容を良くご確認ください。

別添5：タイムカード推奨様式

1. タイムカードの寸法は、付箋と綴じ込みスペースを除いて、縦18cm×横9cmであることが望ましい。
2. 綴じ具は、ページを360度開ける金属製金具を使用すること。
3. 綴じは下側とすること。
4. 各ページの使用方法は以下の通りである。
 - 1) SSを伴わないロードセクション:見本1のカードを使用する。オフィシャル(マーシャル)が必要事項を記入した後、1枚目を切り離してオフィシャル(マーシャル)が保管し、2枚目は切り離してクルーに渡す。3枚目はそのままタイムカードブックに綴っておく。
 - 2) SSを伴うロードセクション:見本2のカードを使用する。SSスタート手前のTCでは、オフィシャル(マーシャル)が下半分のSSスタート予定時刻を含む必要事項を記入した後、競技車両をスタート地点へ移動させる。SSスタートコントロールでは、予定時刻にスタートする場合はその時刻を、スタート時刻に変更があれば実際のスタート時刻を記入する。

SSフィニッシュ後、ストップポイントで必要事項を記入した後、1枚目の下半分(SSフィニッシュ用カード=見本3)を切り離しオフィシャル(マーシャル)が保管する。

SSフィニッシュ後のTCでオフィシャル(マーシャル)が必要事項を記入した後、1枚目の上半分を切り離してオフィシャル(マーシャル)が保管し、2枚目は切り離してクルーに渡す。3枚目はそのままタイムカードブックに綴っておく。
 - 3) 上記の方法によりオフィシャル(マーシャル)、クルー双方に控えが保存され、必要なときにそれぞれ参照することができる。
 - 4) 残りのカードを綴ったタイムカードブックは、その後オーガナイザーが回収し、集計のチェックに用いる。
 - 5) 各タイムカードには、記入したオフィシャル(マーシャル)が必ず署名または捺印すること。

見本1

※控え分を含め3枚がセットになったバックカーボン仕様が望ましい。

ABCD RALLY LOGO TYPE		TC#-TC#	
ARRIVAL TIME at TC 到着時刻	Hr(時) Min(分)		
DUE TIME (Competitor Use) 到着予定時刻 (選手使用)	Hr(時) Min(分)		
TARGET TIME 目標時間	Hr(時) Min(分)		
ACTUAL START スタート時刻 (実際)			
TIME TAKEN 所要時間			
CAR NUMBER			
STAMP/SIGN 署名			

見本2

※見本3を最初のページとし、それを含めた4枚がセットになったバックカーボン仕様が望ましい。

ABCD RALLY LOGO TYPE		TC#-TC#	
ARRIVAL TIME at TC 到着時刻	Hr(時) Min(分)		
DUE TIME (Competitor Use) 到着予定時刻 (選手使用)	Hr(時) Min(分)		
TARGET TIME 目標時間	Hr(時) Min(分)		
ACTUAL START スタート時刻 (実際)			
TIME TAKEN 所要時間			Road Section
SS	CAR NUMBER		
FINISH TIME フィニッシュ時刻 (実際)	Hr(時) Min(分) Sec(秒) 1/10		
ACTUAL START スタート時刻 (実際)		SS #	
TIME TAKEN 所要時間			
Provisional Start Time スタート予定時刻			
Arrival Time at TC 到着時刻			
STAMP/SIGN 署名			

- ・バックカーボン紙の場合は、薄手の用紙を使用し、明瞭な字でカーボンコピーされるようにする。
- ・各控えごとに用紙の色を変えることが望ましい。
- 例) SS無し的一般TC綴り
 - 1枚目：黄色
 - 2枚目：ピンク色
 - 3枚目：白色
- 例) SS付きTC綴り
 - 1枚目(下半分)：白色
 - 2枚目：黄色
 - 3枚目：ピンク色
 - 4枚目：白色
- ・バックカーボン紙の場合は、厚手の表紙を下敷き状に折り込めるような形状にする、または綴りごとに厚紙を入れるなどして、次のTCのセットへカーボンが写らないような配慮をすることが望ましい。

見本3

SS	CAR NUMBER		
FINISH TIME フィニッシュ時刻 (実際)	Hr(時) Min(分) Sec(秒) 1/10		
ACTUAL START スタート時刻 (実際)			
TIME TAKEN 所要時間			
Provisional Start Time スタート予定時刻			
Arrival Time at TC 到着時刻			
STAMP/SIGN 署名			

JRCA支給タイムカードの運用について

JRCAが支給しているタイムカードは、2003年から制定されたタイムカードに関する推奨様式に準じています。なお、最新のJAFモータースポーツイヤーブック「ラリー競技開催規定」の内容を良くご確認ください。

通常のTCの場合 (ページ06~09参照)



Japanese Rally Championship Association

TC番号
(選手配布時に記入済みのこと)

TCオフィシャル(マーシャル)がTCイン時刻を記入

ここは選手が使用

目標時間
(選手配布時に記入済みのこと)

SSストップ地点オフィシャル(マーシャル)が次TCへのスタート時刻を記入(SSフィニッシュ時刻の次分)

TCオフィシャル(マーシャル)が計算をしてタイムを記入 ※

SS番号、ゼッケン
(選手配布時に記入済みのこと)

SSストップ地点オフィシャル(マーシャル)がSSフィニッシュの時刻を記入

SSスタートオフィシャル(マーシャル)が実際のSSスタート時刻を記入

ストップオフィシャル(マーシャル)が計算をしてタイムを記入 ※

SS前TCオフィシャル(マーシャル)が**3分後の暫定SSスタート時刻**を記入。

SS前TCオフィシャル(マーシャル)が前ページ上部に記載の到着時刻を記入

TC

2

ARRIVAL TIME at TC
TC到着時刻

DUE TIME (Competitor Use)
到着予定時刻 (選手使用)

TARGET TIME
目標時間

ACTUAL START
スタート時刻 (実際)

TIME TAKEN
所要時間

Hr (時)	Min (分)				
00	09				

00 09

SSストップ地点オフィシャル(マーシャル)が実際のSSスタート時刻を記入

ストップオフィシャル(マーシャル)が計算をしてタイムを記入 ※

SS前TCオフィシャル(マーシャル)が3分後の暫定SSスタート時刻を記入。

SS前TCオフィシャル(マーシャル)が前ページ上部に記載の到着時刻を記入

SS

1

CAR NUMBER

1

FINISH TIME
フィニッシュ時刻 (実際)

ACTUAL START
スタート時刻 (実際)

TIME TAKEN
所要時間

Provisional Start Time
スタート予定時刻

Arrival Time at TC
TC到着時刻

Hr (時)	Min (分)	Sec (秒)	1/10
		SS	

STAMP/SIGN
署名

Page _____

※ 所要時間欄は選手にタイムカードを戻した後でオフィシャル(マーシャル)が計算して記入してもよい。

ラリースタートTC0の場合

注：TC0のページは必要ありません。

スタートの次のTC番号
(選手配布時に記入済みのこと)

注：この見本では0Aとなつていま
すが、実際には競技設定で
のスタートの次のTC番号にし
てください。

TC0Aのオフィシャル(マーシャル)が
TCイン時刻を記入

ここは選手が使用

目標時間
(選手配布時に記入済みのこと)

TC0(ラリースタート)ではTC0の
オフィシャル(マーシャル)が
その競技車のラリースタート時刻を記入

TCオフィシャル(マーシャル)が
計算をしてタイムを記入 ※

ゼッケン
(選手配布時に記入済みのこと)

★各車のスタート時刻は公式通知
によって全車それぞれのスタート
時刻をスタート前までに発表して
おく。



Japanese Rally Championship Association

TC 0A

	Hr(時) Min(分)		
ARRIVAL TIME at TC TC到着時刻	<table border="1" style="width: 100%; height: 30px;"> <tr><td style="width: 50%;"></td><td style="width: 50%;"></td></tr> </table>		
DUE TIME (Competitor Use) 到着予定時刻(選手使用)	<table border="1" style="width: 100%; height: 30px;"> <tr><td style="width: 50%;"></td><td style="width: 50%;"></td></tr> </table>		
TARGET TIME 目標時間	<table border="1" style="width: 100%; height: 30px;"> <tr><td style="width: 50%; text-align: center;">00</td><td style="width: 50%; text-align: center;">10</td></tr> </table>	00	10
00	10		
ACTUAL START スタート時刻(実際)	<table border="1" style="width: 100%; height: 30px;"> <tr><td style="width: 50%;"></td><td style="width: 50%;"></td></tr> </table>		
TIME TAKEN 所要時間	<table border="1" style="width: 100%; height: 30px;"> <tr><td style="width: 50%;"></td><td style="width: 50%;"></td></tr> </table>		

CAR NUMBER
1

STAMP/SIGN 署名

Page _____

※ 所要時間欄は選手にタイムカードを戻した後でオフィシャル(マーシャル)が計算して記入してもよい。

リグループカードの運用について

現在JAF規定では規則化されていませんが、本カードはリグループをスムーズに行うため、国際ラリーを手本にJRCAが独自に制作したもので、綴じ込まれずカード単位で使用します。

リグループOUT TC番号
(選手配布時に記入済みのこと)

TC 3Aのオフィシャル(マーシャル)が
TC OUT予定時刻を記入
※

リグループIN TC番号
(選手配布時に記入済みのこと)

TC 3Aのオフィシャル(マーシャル)が
TC INの時刻を記入

ゼッケン
(選手配布時に記入済みのこと)

これはJRCAが国際ラリーを手本として推奨する使用方法です。



JRCA
Japanese Rally Championship Association

REGROUP

OUT TC

3B

Hr(時) Min(分)

17 31



ARRIVAL TIME at TC
TC到着時刻

リグループOUT予定時刻を
オフィシャルが記入します。

IN TC

3A

Hr(時) Min(分)

17 19



ARRIVAL TIME at TC
TC到着時刻

CAR NUMBER

1

STAMP/SIGN

署名

Page _____

このカードの使用方法

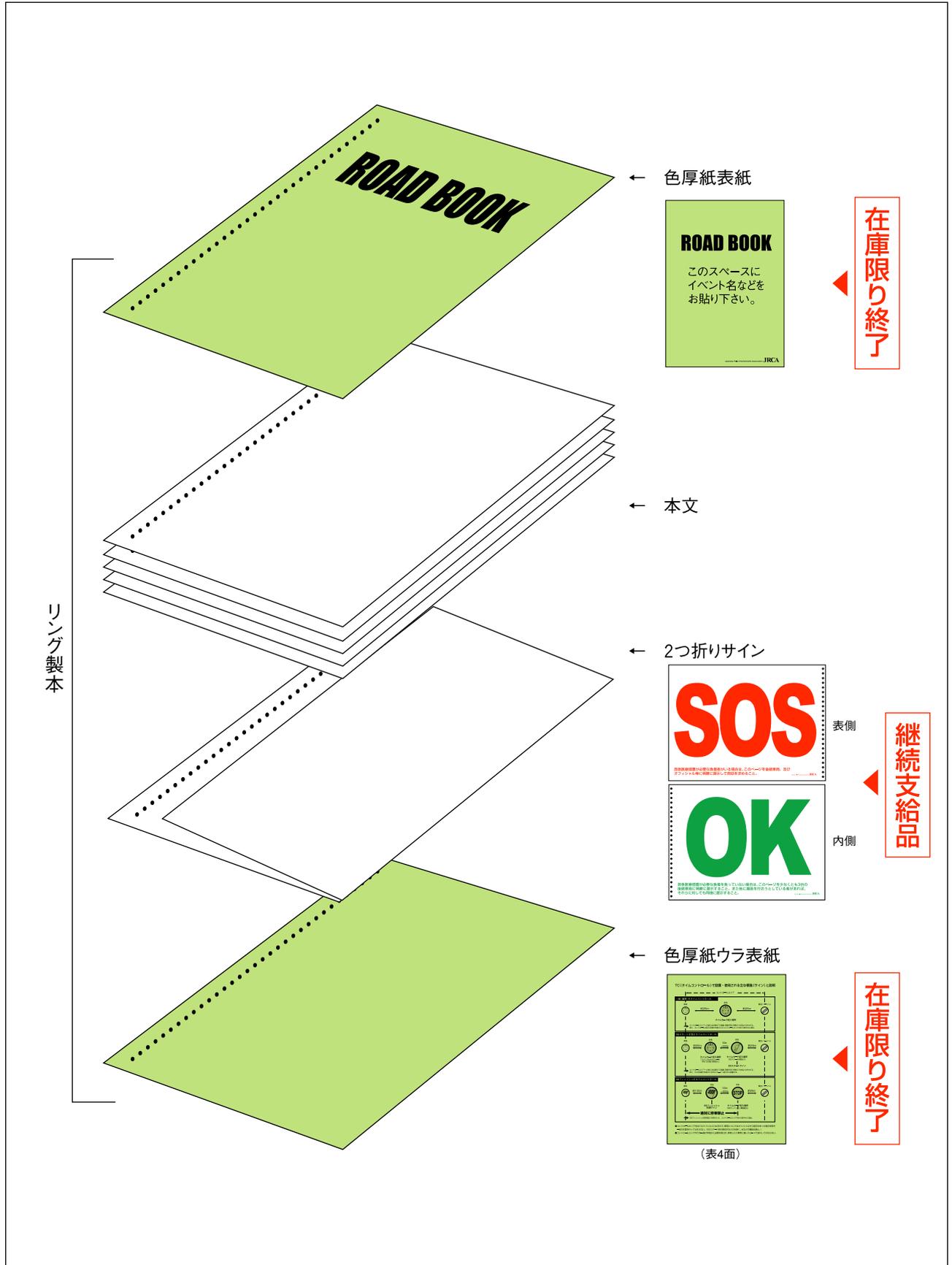
- このカードと引き替えにそこまでのタイムカードブックをオフィシャルが回収します。
- Regroup Out TCの到着時刻は、Regroup In TCの到着時刻とは関係なく指示されます。(原則として全ての車両が1分間隔で到着するよう指示されます)
- このカードへの時刻の記入は、すべてRegroup In TCのオフィシャルが行い、選手及びRegroup Out TCのオフィシャルが記入することはありません。
- リグループエリア再入場(10分前)の際、新たなタイムカードブックとこのカードを引き替えます。

※ 何のトラブルもなく全車が順調に進んでいる場合は、1号車(先頭車)に対して多くの場合ドライバーがリグループエリアにとどまることのできる15分後の時刻を記入、その後次の車両ごとに1分後の時刻を記入。
ただし、何らかの理由で後方車に遅れが出ている場合などは本部等と相談の上、30分後、60分後など後方が追いつける時間を記入し、その後その1分後の時刻を順次記入していく。万が一後方の車両が1分ごとに記入できなくなった場合はできるだけ時間をあけない時刻を記入していく。

その他 ロードブックの製本

ロードブック関係支給資材は「2つ折緊急時用サイン」を除き在庫限り終了予定です。

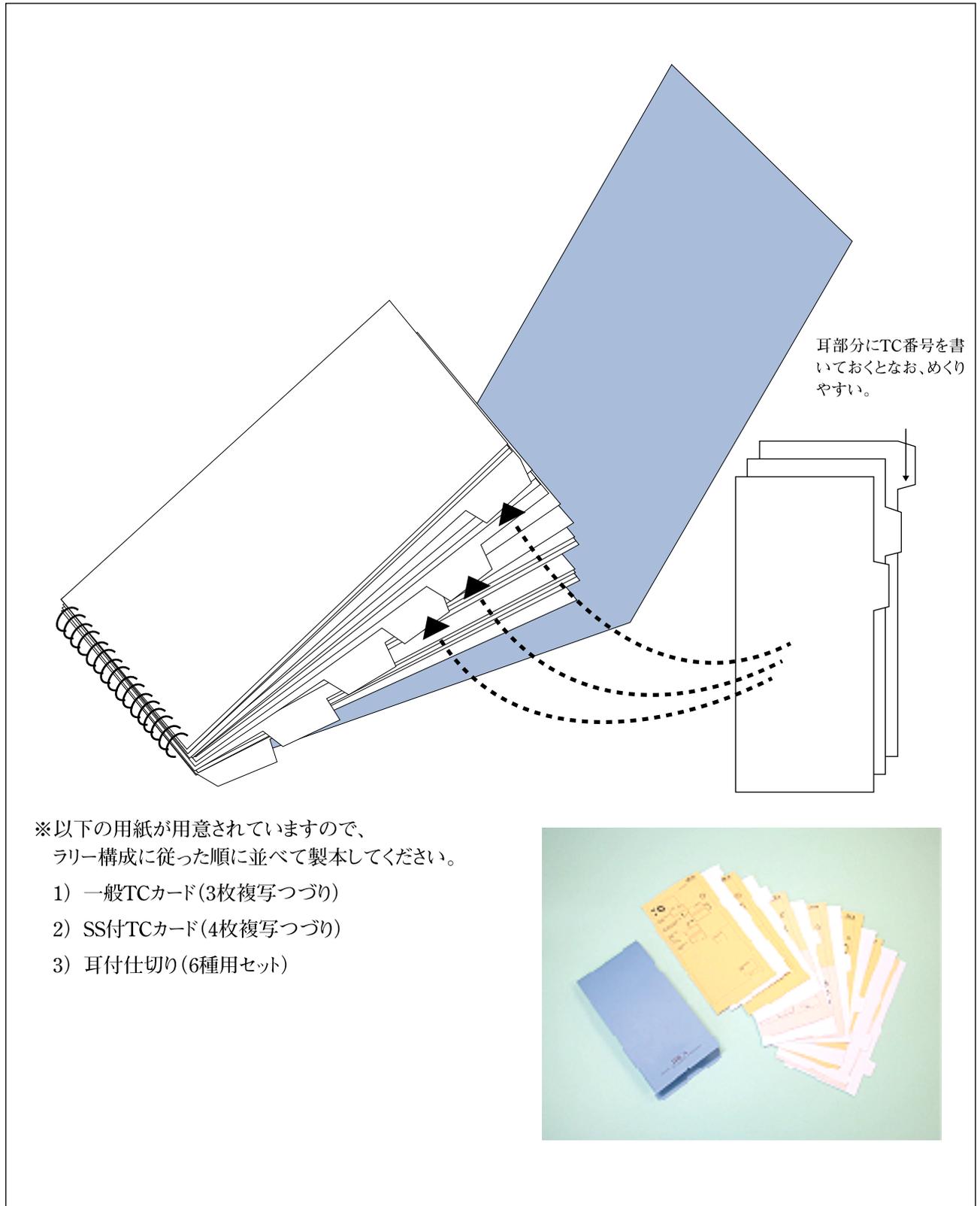
ロードブックは狭い車内でも使用しやすいよう、ページが360度開けるリング製本が主流です。



タイムカードの製本

JRCAが支給している3枚つづりのタイムカード用紙は、バックカーボン仕様で非常に薄いので、現場のオフィシャル(マーシャル)がめくりづらいことがあります。このため、各つづりの間に耳つき仕切りページを入れてTC番号を書いておくことと便利です。JRCAでは厚紙製の耳つきページを用意しています。

この耳つき仕切りページを入れておくことにより、耳部分にTC番号が記入でき、めくりやすくなる上に次のつづりページへの写りも防止でき、都度表紙を挟み込む必要がありません。



■ リング金具用製本機 およびリング金具について

ロードブック、サービスブック、タイムカードなどを綴るための製本機および専用のリング金具を購入希望の主催者の方は、下記販売会社に直接注文するか、取り寄せ可能な文具店等でご購入ください。なお輸入品のため在庫タイプや価格が時期により異なりますので、ご確認下さい。

※穴あき形状が丸穴タイプと四角タイプの2種類ありますのでご注意下さい。



製本機 ワイヤーバインダー3・2
各種サイズに対応 ¥73,500

Wire-O (ワイヤーオー) 用リング

ワイヤーサイズNo.	製本仕上厚さ	コピー用紙で
4	4.8mm	45枚
6	7.9mm	75枚
8	11.1mm	100枚

厚手の用紙を使用する場合は、綴じられるページ数が少なくなります。

リング金具はニッパー等で簡単に切ることができるので、タイムカードなどのようにA4サイズより小さい幅で綴じる場合でも使用可能です。

※ワイヤーサイズは上記以外にも設定されていますので、下記販売店等へお問い合わせください。



専用リング金具
No.4 (250本入り) ¥12,000

リング製本機、専用リング金具のお問い合わせ先

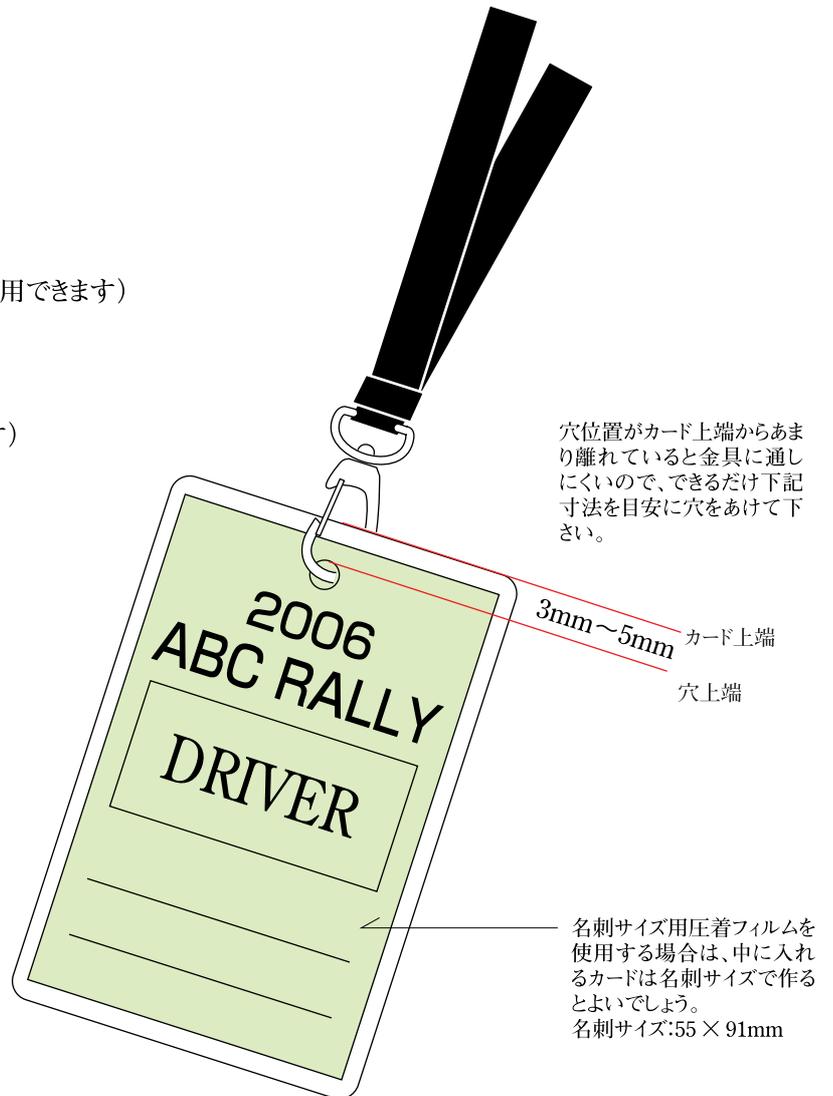
株式会社 笹岡工業
TEL. 047-311-7311 FAX. 047-311-7322
〒273-0128 千葉県鎌ヶ谷市くぬぎ山2-13-12

■ クレデンシャルについて

クレデンシャルカードは厚紙でつくるか「パウチ」などをしてから、既存のネックストラップ等に付けられるよう1つ穴用または2つ穴用パンチ穴開け具等で穴を開けて配布してください。また最近ではストラップ付きの名刺ホルダーなどいろいろなものが入手しやすくなっているので、それらを活用するのもよいでしょう。

クレデンシャルの種類

1. DRIVER
(ドライバー用、コドライバー用とも共用できます)
- (2). CO-DRIVER
3. SERVICE CREW
(メーカー系サービスも共用できます)
4. GUEST
5. PRESS
6. OFFICIAL
- (7). STEWARD (審査委員)
- (8). VIP (必要あれば)



上記クレデンシャルをパウチできる機械は、ラミペット、ラミネーター、MSパウチ等の製品名で各社から数千円～10万円超まで様々な価格帯で販売されています。お近くの文具店またはネット通販などで購入することができます。



※名刺サイズ用圧着フィルムは、通常100枚入で¥2,000程度です。

■ 申込書類

JRCAホームページから、各申込書、申告書のひな型がダウンロードできるようになっていますので、ご活用下さい。

注：JRCAのホームページにアクセスしていただき、「2006年(暫定版)指示ツール、タイムカード、標識類統一フォーム・運用の手引き」から必要な資料のPDFファイルをダウンロードすることで、プリントアウトするなどしてご利用いただけます。また、ダウンロード用に主催者様のホームページにも複製を作ってお利用ください。

※：印刷版下にする場合は、PDFファイルをイラストレータから開くことをおすすめします。

これらの項目については各主催者ごとに変更してご使用ください。

参加申込書 (Team Application Form) form showing fields for team name, driver, co-driver, and event details.

サービス申込書 (Service Application Form) form for service staff and support drivers.

車両申告書 (Vehicle Declaration Form) form for vehicle registration and specifications.

取材申込書 (Media Application Form) form for media inquiries.

ご注意：

- ・誓約書および右記の書類については、各オーガナイザーの状況に合わせて独自の文面で作成する場合がありますので、特に留意していません。
- ・誓約書については国内競技規則に従った誓約書を作成、運用してください。

- 参加選手誓約書
- サービス員誓約書
- レッキ参加申込書
- 宿泊申込書
- その他の必要な書類

本競技会はFIAの国際モータースポーツ競技規則ならびにそれに準拠した日本自動車連盟(JAF)の国内競技規則に従って開催される。

参加申込書

Japanese Rally Championship Association **JRCA**

太枠内がプログラム等に記載されます。※印の項目以外は全て記入し、選択項目は○で囲んでください。

※CAR No.

EVENT	競技会データ ▼この欄のみ空欄でコピーを取り、参加競技会ごとにこの欄を記入及び捺印したものでも可。				
	競技会名	年度	ラウンド	クラス	申込日
				JN-	月 日
					申込者印
					Ⓜ

TEAM	チームデータ ▼プログラム等への記載を希望するスポンサー社名等の入った自由な名称で可。ただし、品位を損なうことのない名称のこと。	
参加チーム名称		チーム監督(代表者)

▲ドライバー、コ・ドライバー、メカニックでも可

ENTRANT	参加者データ ▼JAFエントラントライセンスの登録内容を記入。				
参加者 <small>参加者がドライバーの場合は、参加者名のフック内のみ記入。</small>	参加者名	地域コード	参加者ライセンス 国際・国内		
	住所 〒				TEL.
					FAX.

DRIVER	ドライバーデータ	
ふりがな		
氏名		
生年月日・年齢	西暦	年 月 日(才)
血液型・性別	Rh +・- A・B・O・AB	男・女
住所	〒	
TEL.	()	
※携帯電話	差し支えなければご記入ください。	
※e-mailアドレス	差し支えなければご記入ください。	
運転免許証		
中型条件付普通他()	取得	年 月
競技ライセンス		
地域コード	国内・A・B 国際・A・B・C 国際Cレース除外	
所属クラブ名		
前年シリーズ順位 または戦績		

CO.DRIVER	コ・ドライバー(ナビゲーター)データ	
ふりがな		
氏名		
生年月日・年齢	西暦	年 月 日(才)
血液型・性別	Rh +・- A・B・O・AB	男・女
住所	〒	
TEL.	()	
※携帯電話	差し支えなければご記入ください。	
※e-mailアドレス	差し支えなければご記入ください。	
運転免許証		
中型条件付普通他()	取得	年 月
競技ライセンス		
地域コード	国内・A・B 国際・A・B・C 国際Cレース除外	
所属クラブ名		
前年シリーズ順位 または戦績		

▲戦績については自由な別紙での添付も可。

▲戦績については自由な別紙での添付も可。

MACHINE	車両データ				
参加車両名称 <small>メーカー車両名を含む15文字以内で、品位を損なうことのない名称のこと</small>					
車名	型式	原動機の型式	初度登録年月	車両分類 (○で囲む) RN・RJ・RF	
総排気量	過給器 付・無	登録番号	FIA公認番号 または JAF登録車両番号		

受理書その他の送付先	参加者 / ドライバー / コ・ドライバー / その他()
------------	--------------------------------

▼※事務局記入欄

受付No.	受付月日	参加料	保険	その他

車両申告書

参加者				ドライバー				CAR No. (主催者記入)	
車名				型式				乗車定員	人
原動機 の 型式	総排気量	ターボ	有 ・ 無 () 個		過給器換算 排気量 (×1.7)	cc			
			スーパー チャージャー	有 ・ 無 () 個					
登録番号	初度登録 年月		車台番号						
車両種別 (右のいずれかを ○で囲む)	JN-1 JN-2 参加車両	JN-3 JN-4 参加車両	初度登録が平成14年12月以前のもの (～2002年12月31日)			RN ・ RJ	クラス JN-		
			初度登録が平成15年1月以降のもの (2003年1月1日～)			FIA公認のある車両でRN規定に準じた車両		RN	
						JAF登録のみの車両でRJ規定に準じた車両		RJ	
			※ JN-1、JN-2 クラスは原則として参加時点で初度登録から10年を経過していない車両のみ参加可能です。			RF			

●公認書、JAFイヤーズブック、JAFスポーツ、カタログ等に記載のものを自車の種別の欄に記入 (当日は公認書またはカタログを
※初年度登録が2002年12月31日以前の車両で、RJ車両として参加する場合であっても、公認のある車両は左欄に記入すること。 車検時に持参のこと)

FIA公認のある車両の場合記入			
FIA公認No.	FIA公認 発効年	西暦	年
公認書記載最大ホイールサイズ		公認書記載車両重量	
フロント			
リア			kg

JAF登録のみの車両の場合記入			
JAF登録No.	登録年	西暦	年
カタログ記載最大ホイールサイズ		カタログ記載車両重量	
フロント			
リア			kg

●自車の内容を下欄に記入

自車の車両重量 kg	自車のロールバータイプ (どちらかを○で囲む)		ロールバー取付時期 西暦	消火器	
	RN車の場合に記入	FIA・J 項適合品 ・ FIA/JAF公認品		メーカー(容量)	(kg)
	RJ車の場合に記入	FIA・J 項適合品 ・ JAF・レース規定適合品		スベアの有無	無 ・ 有 ()本
RF車の場合に記入	日本ラリー選手権規定 第6条2.2に準じたもの ・ その他				

●今回の自車使用ホイール、タイヤ

※RN車両で使用可能な最大ホイールサイズは公認サイズまでです。 ※RJ車両の使用可能な最大ホイールサイズは、JN-4クラス:17×7.5JJ、JN-3・JN-2クラス:16×7JJ、JN-1クラス:14×6JJとなります。ただしカタログにそれ以上のサイズが記載されている場合は最大ホイールサイズがカタログ記載のサイズまでとなります。 ※RF車両のホイールサイズはタイヤ組込状態で車検に合致するものであれば自由。

		ドライ用				ウェット用			
		ホイールサイズ	タイヤメーカー	タイヤ銘柄	タイヤサイズ	ホイールサイズ	タイヤメーカー	タイヤ銘柄	タイヤサイズ
グラベル	Fr	×	JJ			×	JJ		
	Rr	×	JJ			×	JJ		
ターマック	Fr	×	JJ			×	JJ		
	Rr	×	JJ			×	JJ		

●その他

項目	改造の有無	メーカー	項目	改造の有無	メーカー
ショックアブソーバー/フロント	有 ・ 無		ミッション	有 ・ 無	
ショックアブソーバー/リア	有 ・ 無		ファイナル	有 ・ 無	
コイルスプリング/フロント	有 ・ 無		L.S.D./フロント	有 ・ 無	
コイルスプリング/リア	有 ・ 無		L.S.D./センター	有 ・ 無	
ステアリングホイール	有 ・ 無		L.S.D./リア	有 ・ 無	
シート	有 ・ 無		マフラー	有 ・ 無	

▼オフィシャル使用欄

種別	リストラクター	実測重量	ホイールサイズ	ロールバー	シート取付	シートベルト	マフラー	排ガス	ヘルメット	スーツ	グローブ

取材申込書

競技会

競技会名	年度	ラウンド	開催日
	年	第 戦	月 日～ 日

メディア申請欄

媒体名				貴社名			
貴社住所	〒				申込者氏名		
連絡先	TEL.		FAX		E-mail		

取材代表者	氏名		年齢	歳	血液型	Rh +・- A・B・O・AB	性別	男・女
	取材種別	編集・ライター・カメラマン・ その他 ()	所属	JMS・JRPA No.	JAF PASS	No.		
	携帯電話	※取材現場で連絡の取れるもの		緊急時 連絡先	氏名 TEL. ()			
取材者(2)	氏名		年齢	歳	血液型	Rh +・- A・B・O・AB	性別	男・女
	取材種別	編集・ライター・カメラマン・ その他 ()	所属	JMS・JRPA No.	JAF PASS	No.		
	携帯電話	※取材現場で連絡の取れるもの		緊急時 連絡先	氏名 TEL. ()			
取材者(3)	氏名		年齢	歳	血液型	Rh +・- A・B・O・AB	性別	男・女
	取材種別	編集・ライター・カメラマン・ その他 ()	所属	JMS・JRPA No.	JAF PASS	No.		
	携帯電話	※取材現場で連絡の取れるもの		緊急時 連絡先	氏名 TEL. ()			
使用車両	車種	(1)	(2)			(3)		
	登録番号							

※クレデンシャル送付先が上記太枠内住所と異なる場合は下記にご記入ください。

送付先	宛名		住所	〒			
-----	----	--	----	---	--	--	--

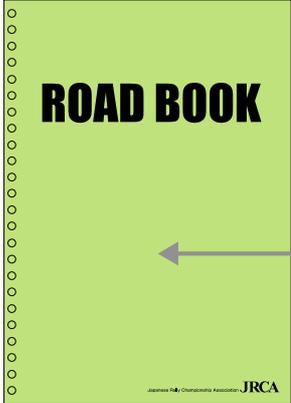
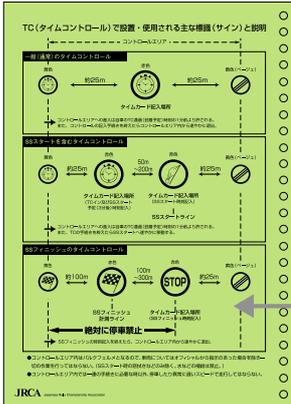
誓約書

年 月 日

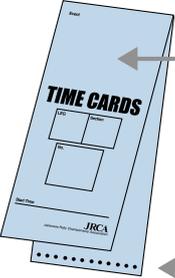
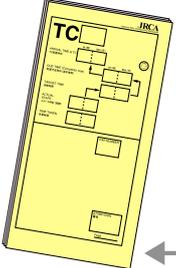
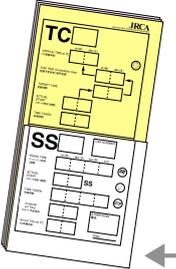
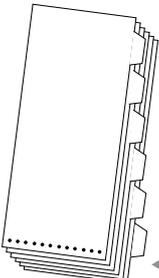
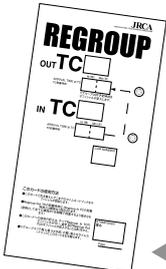
私は、本大会取材にあたり、主催者より指示された事項にすべて従うことを誓約します。また、取材にあたり関連して起こった死亡、負傷、その他の事故で私及び会社、同行者の受けた損害について、JAF、主催者、大会役員、大会関係者及び競技者などに対して、非難や責任追及、損害賠償を要求しないことを誓約します。なお、このことは事故が主催者や大会役員の手違いなどに起因した事故でも変わりありません。万一私が取材中に事故を引き起こした場合、事故に起因するすべての賠償責任を負うことを誓約します。また、私は取材にあたり、危険が伴うことを認識し、それに対して標準的な能力を持っていることを誓約し、取材申請します。

署名 _____ 印 _____ 署名 _____ 印 _____ 署名 _____ 印 _____

ロードブック関係

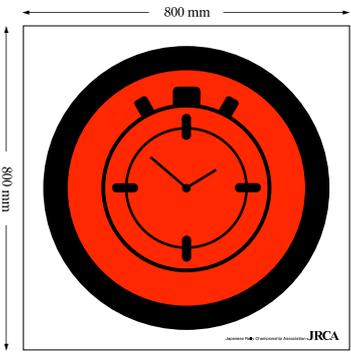
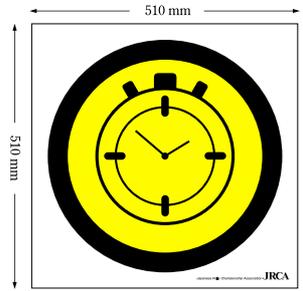
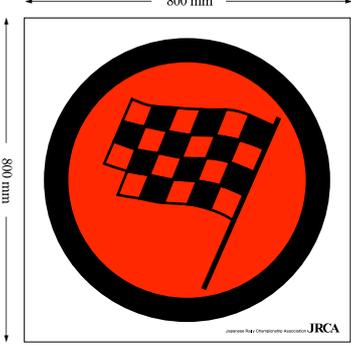
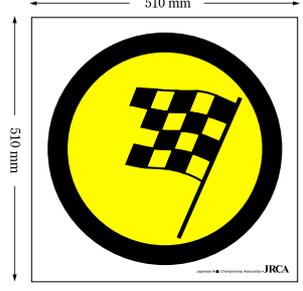
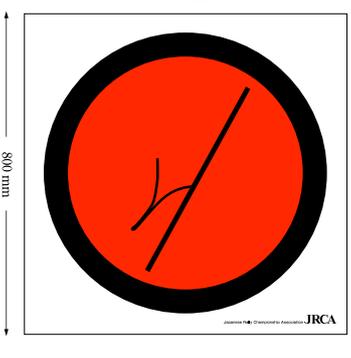
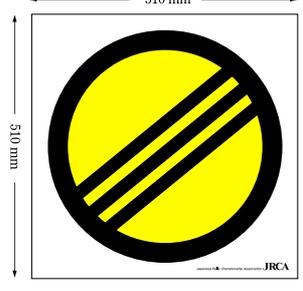
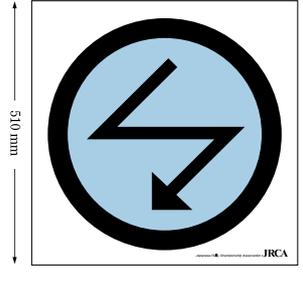
アイテム	単価	支給単位
<p>表紙 (薄いグリーン of 厚紙製)</p> <p>パンチ 穴あけ済み</p>  <p>あきスペースにイベント名称を貼る等して使用してください。</p> <p>A5サイズ</p>	<p>36円</p> <p style="border: 1px solid red; padding: 2px; color: red; font-weight: bold;">在庫限り終了</p>	<p>50</p>
<p>ウラ表紙 (薄いグリーン of 厚紙製)</p>  <p>パンチ穴あけ済み</p> <p>印刷面を表4に使用</p> <p>A5サイズ</p>	<p>36円</p> <p style="border: 1px solid red; padding: 2px; color: red; font-weight: bold;">在庫限り終了</p>	<p>50</p>
<p>緊急用サイン紙 (白 of 厚紙製)</p>  <p>SOSマークとOKマークが両面に印刷され、折りたたんでありますので、ロードブックの最終ページに綴じて使用してください。</p> <p>表側面</p> <p>A4変形サイズ</p>	<p>66円</p>	<p>50</p>

タイムカード関係

アイテム	単価	支給単位
<p>表紙(ブルーの厚紙製)</p>  <p>あきスペースにイベント名称を貼る等して使用してください。</p> <p>表紙をTCカードにはさみ込むことで、カーボンの次TCカードへの裏写りを防ぎます。</p> <p>パンチ穴あけ済み</p>	70円	50
<p>一般TC用カーボン紙綴り</p>  <p>※パンチ穴は、在庫分にはあいておりませんので各主催者様にて穴あけが必要です。(増刷分から穴あけ済みに変更となり、穴あけの手数が省けるようになります。)</p>	13円	50
<p>SS付TC用カーボン紙綴り</p>  <p>※パンチ穴は、在庫分にはあいておりませんので各主催者様にて穴あけが必要です。(増刷分から穴あけ済みに変更となり、穴あけの手数が省けるようになります。)</p>	15円	50
<p>台紙(耳付6種)</p>  <p>うすいタイムカードをめくりやすくするとともに、そのつど表紙をはさまなくとも裏写りを防ぐことができます。</p> <p>耳にはTC番号やSS番号が記入できます。耳位置は、6種類あります。</p> <p>パンチ穴あけ済み</p>	<p>A) 19円 B) 19円 C) 19円 D) 19円 E) 19円 F) 19円</p>	<p>A) 50 B) 50 C) 50 D) 50 E) 50 F) 50</p>
<p>リグループカード(白の厚紙製)</p>  <p>タイムカードブックに綴じ込まないためパンチ穴は必要ありません。</p>	33円	50

標識(サイン)関係

在庫限り終了

種類		種類	
標識(大型)赤:時計 	単価 1,000円 支給単位 1	標識(小型)黄:時計 	単価 700円 支給単位 1
標識(大型)赤:フラッグ開 	単価 1,000円 支給単位 1	標識(小型)黄:フラッグ開 	単価 700円 支給単位 1
標識(大型)赤:フラッグ閉 	単価 1,000円 支給単位 1	標識(小型)黄:三本線 	単価 700円 支給単位 1
標識(大型)赤:STOP 	単価 1,000円 支給単位 1	標識(小型)青:ラジオポイント 	単価 700円 支給単位 1

●すべて合成紙(裏面粘着)仕様です。
●1枚単位でご注文できます。

資材申込書

ロードブック/タイムカード
標識類

★印：在庫限り支給を終了いたします。

アイテム名	梱包単位	希望梱包数	合計希望数	単価	合計希望数×単価
ロードブック関係	★ 表紙	50 × () = ()		36	¥ ()
	★ ウラ表紙	50 × (上記と同) = (上記と同)		36	¥ (上記と同額を記入)
	SOS・OKページ	50 × (上記と同) = (上記と同)		66	¥ ()
タイムカード関係	表紙	50 × () = ()		70	¥ ()
	一般TC用カーボン綴り	50 × () = ()		13	¥ ()
	SS付TC用カーボン綴り	50 × () = ()		15	¥ ()
	台紙 (A)	50 × () = ()		19	¥ ()
	台紙 (B)	50 × (上記と同) = (上記と同)		19	¥ (上記と同額を記入)
	台紙 (C)	50 × (上記と同) = (上記と同)		19	¥ (上記と同額を記入)
	台紙 (D)	50 × (上記と同) = (上記と同)		19	¥ (上記と同額を記入)
	台紙 (E)	50 × (上記と同) = (上記と同)		19	¥ (上記と同額を記入)
	台紙 (F)	50 × (上記と同) = (上記と同)		19	¥ (上記と同額を記入)
リグループカード	50 × () = ()		33	¥ ()	
小計					¥ ()
梱包発送費					¥ 3,000
合計					¥ ()
消費税					¥ ()
総合計					¥ ()

※お支払い方法につきましては、梱包発送費を含む上記合計金額に、運賃が加わった代引き(着払い)での発送となります。

標識

アイテム名	梱包単位	希望梱包数	合計希望数	単価	合計希望数×単価
標識類	★(大型)赤：時計	1 × () = ()		1,000	¥ ()
	★(大型)赤：フラッグ開	1 × () = ()		1,000	¥ ()
	★(大型)赤：フラッグ閉	1 × () = ()		1,000	¥ ()
	★(大型)赤：STOP	1 × () = ()		1,000	¥ ()
	★(小型)黄：時計	1 × () = ()		700	¥ ()
	★(小型)黄：フラッグ開	1 × () = ()		700	¥ ()
	★(小型)黄：三本線	1 × () = ()		700	¥ ()
	★(小型)青：ラジオポイント	1 × () = ()		700	¥ ()
小計					¥ ()
梱包発送費					¥ 5,000
合計					¥ ()
消費税					¥ ()
総合計					¥ ()

※お支払い方法につきましては、梱包発送費を含む上記合計金額に、運賃が加わった代引き(着払い)での発送となります。

イベント開催日 年 月 日	イベント名称	資材必着 希望日	月 日
------------------	--------	-------------	-----

資材送付先

住所 〒	宛名
	TEL. ()